

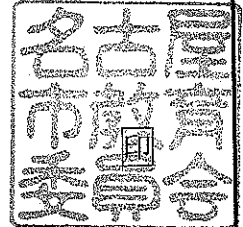
行政文書一部公開決定通知書

2 教文 123 号
令和 2 年 8 月 18 日

名古屋市民オンブズマン
代表 新海 聡 様

実施機関

名古屋市教育委員会



令和2年8月4日付けで請求のあった行政文書の公開については、名古屋市情報公開条例第10条第1項の規定により、次のとおりその一部を公開することと決定しましたので通知します。

行政文書の名称	令和2年3月27日開催「名古屋市文化財調査委員会」配付資料（請求にかかるもの）		
行政文書の公開の日時及び場所	日時	令和 2 年 8 月 18 日	午前 時 午後
	場所	市民情報センター（市役所西庁舎1階）	
行政文書の公開の方法	1 閲覧 ② 写しの交付 3 視聴		
行政文書の一部を公開しない理由	名古屋市情報公開条例第7条第1項第4号に該当 該当行政文書には、文化財の指定に関する審議、検討又は協議に関する情報が含まれており、当該文化財についての審議、検討又は協議はいまだ実施途上にあり、当該情報が公開されると、率直な意見の交換又は意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるため、該当部分を非公開とする。		
備考	<決定を行った所管課・公所> 教育委員会事務局生涯学習部文化財保護室 TEL 052-972-3268		

- 1 この処分について不服があるときは、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3箇月以内に、名古屋市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 この処分について不服があるときは、この処分があったことを知った日（審査請求をしたときは、裁決書の送達を受けた日）の翌日から起算して6箇月以内に、名古屋市を被告として（教育委員会が被告の代表者となります。）処分の取消しの訴え（取消訴訟）を提起することができます。なお、6箇月以内であっても、処分又は裁決の日から1年を経過すると取消訴訟を提起することができなくなります。
- 注 行政文書の公開を受ける際には、この通知書を提示してください。

名古屋市文化財調査委員会

日 時：令和2年3月27日（金）午後2時～
場 所：第8会議室（市役所西庁舎3階）

1 開 会

2 議 題

- (1) 町並み保存地区における伝統的建造物の追加指定について
- (2) 文化財の指定について（諮問）

3 報告事項

- (1) 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設外構工事に伴う特別史跡のき損について
- (2) 令和元年度文化財保護室事業報告
- (3) その他

4 閉 会

名古屋市文化財調査委員会

資 料

- ◇ 日 時：令和2年3月27日（金）午後2時～
- ◇ 場 所：第8会議室（市役所西庁舎3階）

目 次

議題

- (1) 町並み保存地区における伝統的建造物の追加指定について… 1
- (2) 文化財の指定について（諮問）…………… 2

報告事項

- (1) 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設
外構工事に伴う特別史跡のき損について…………… 5
- (2) 令和元年度文化財保護室事業報告…………… 9
- (3) その他

白壁・主税・榎木町並み保存地区における伝統的建造物の追加指定について

- 趣旨 白壁・主税・榎木町並み保存地区において、名古屋市町並み保存要綱に基づき、下記の建造物を伝統的建造物として追加指定する。
- 理由 建物所有者から伝統的建造物の指定を受けたい旨の申し出があり、保存計画で定める伝統的建造物の指定要件に合致するため。

名称	料亭か茂免 土蔵
所在地	東区白壁4丁目85番地
概要	構造：本瓦葺、切妻造り、木造2階建 建築面積：約33㎡ 延床面積：約66㎡ 敷地面積：約1,000坪 建築年：大正7年（1918）
特徴	料亭か茂免は、江戸時代の武家屋敷地の跡地に大正期に建てられた、旧中井家住宅を使用した料亭として、1948年より現在地で営業している。 土蔵の棟札には「大正七戊午年七月吉日 主 中井巳治郎 棟梁 宇佐美喜代治 日雇頭 長谷川勇治郎」とあり、1918年7月の建築であることがわかる。棟梁は宇佐美喜代治、日雇頭は長谷川勇治郎である。建築主は中井巳治郎となっている。土蔵は、本瓦葺、切妻造り、トラス構造、2階建てで、白漆喰塗。大きさは4.55m×7.28mで、北側に入口を持つ。内部の床と壁を板張りとする屋敷蔵である。 ※瀬口哲夫氏著「料亭・か茂免(旧中井巳治郎邸)の空間構成と建築/大正期の邸宅」(2011)参照

写真



写真1 土蔵西側外観(本館2階より)



写真2 土蔵東側外観(鳥屋筋より)

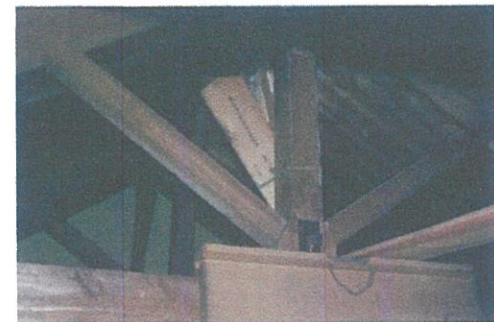
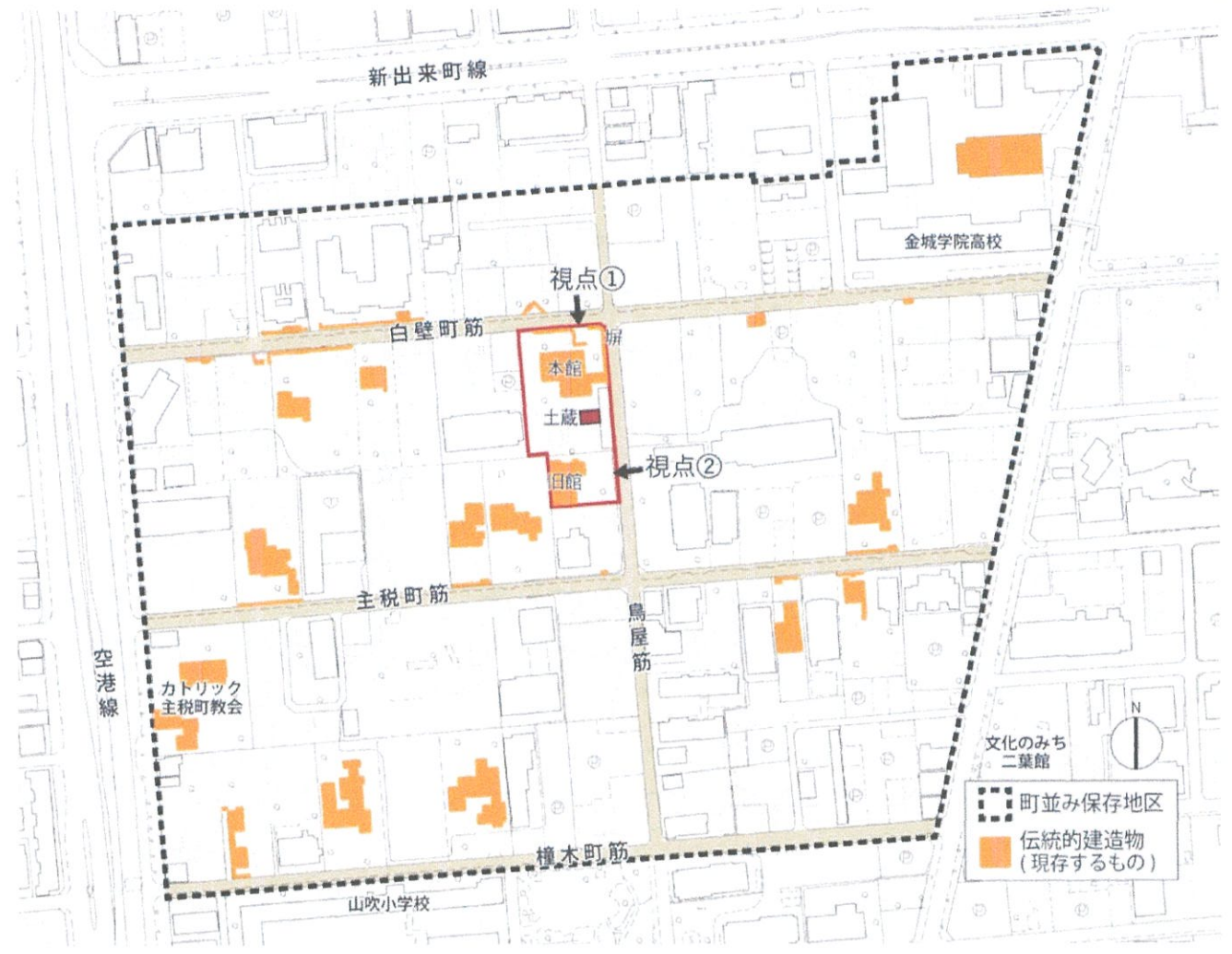


写真3 土蔵小屋組及び棟札



写真4 中井家土蔵棟札

○位置図



【参考】料亭か茂免 その他の主な建物



本館 (視点①より)



本館 (応接室)



旧館 (視点②より)

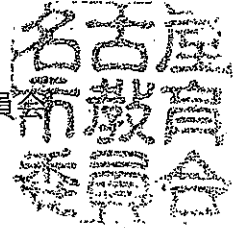
【参考】伝統的建造物の指定要件 (名古屋市白壁・主税・榎木町並み保存地区保存計画より抜粋)

- ・保存地区内において『町並みの特性を維持していると認められる、主に戦前までに建てられた和風・洋風建築・土蔵等の建築物及び門・塀』を「伝統的建造物」に指定する。
- (※当初指定時においては、道路から望見できる戦前の建物を伝統的建造物に指定)

令和2年3月27日

名古屋市文化財調査委員会 様

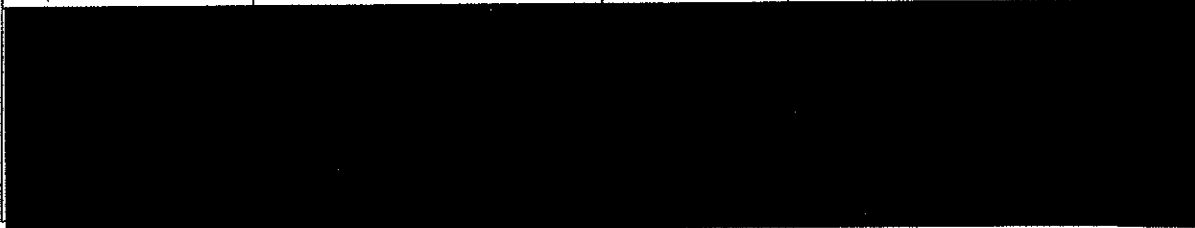
名古屋市教育委員会



名古屋市指定  の指定について（諮問）

みだしのことにつきまして、名古屋市文化財の保存及び活用に関する条例（昭和47年名古屋市条例第4号）第2条第1項の規定により、諮問いたします。

記

種 類	名 称	員 数	所有者（申請者）
			

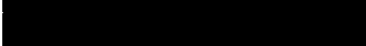
名古屋市文化財指定調書

令和 2 年 3 月 26 日

名古屋市教育委員会 様

住 所
名 前
代表者



次の文化財を名古屋市文化財の保存及び活用に関する条例の規定による名古屋市指定  の指定を受けたいので、調書を提出します。

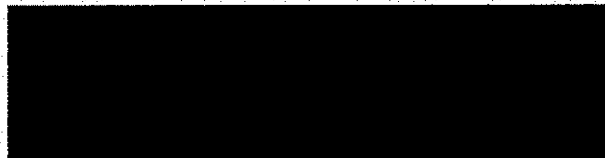
名 称

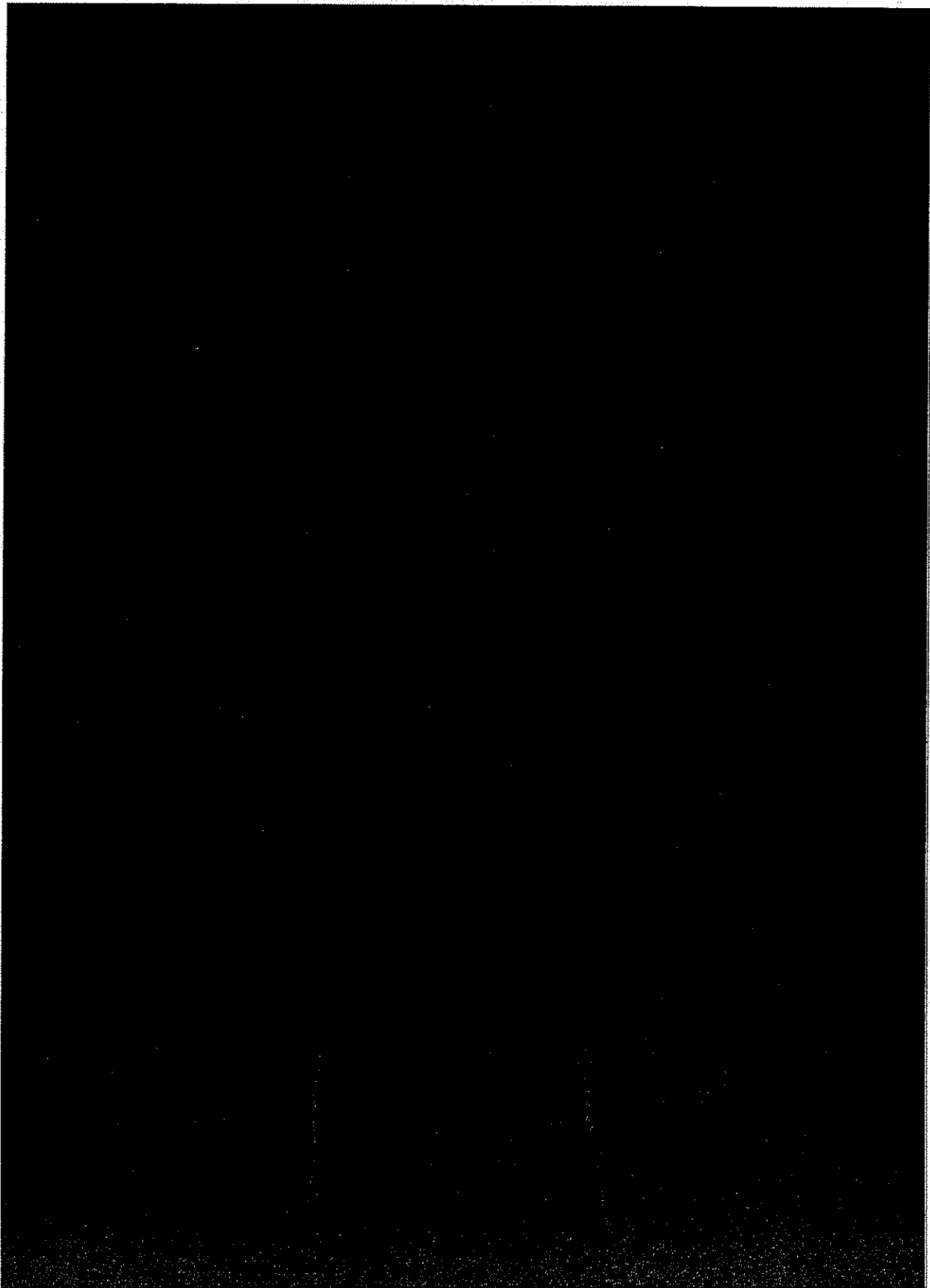


員 数



所在の場所





名古屋城重要文化財等展示収蔵施設 外構工事に伴う特別史跡のき損について

みだしの工事におきまして、特別史跡をき損する事案が発生いたしましたので、下記のとおりご報告いたします。

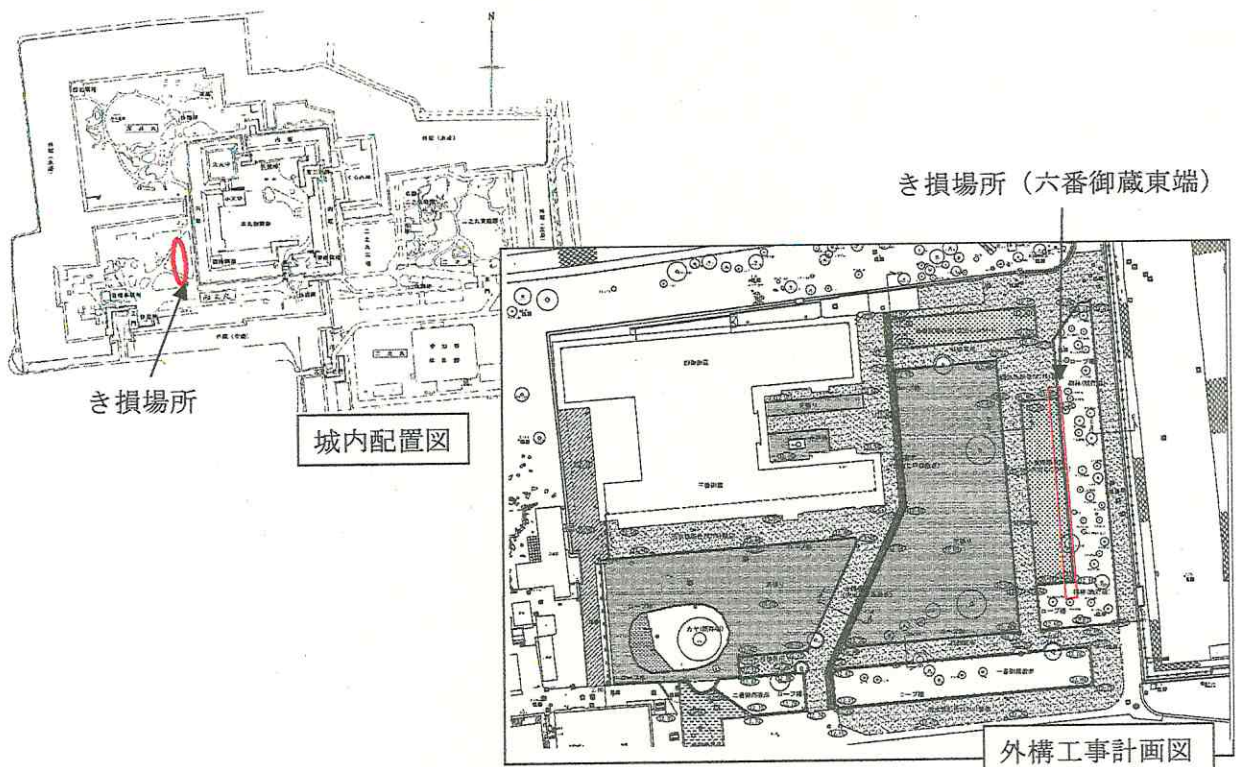
記

1 発生日時

令和2年3月2日（月） 13時30分から14時30分頃

2 発生場所

名古屋城西之丸（中区本丸1番1号）



3 状況

- ・展示収蔵施設の外構工事として、六番御蔵の地表面表示のための基礎工事を行っていたが、掘削深が遺構面に達しないと判断したため、学芸員の立会いを要さないものとして掘削を行っていた。その際、六番御蔵の東側の縁にあたる位置にあった石列をき損した。
- ・石列の中には、柱を立てる東石と思われる石が一定間隔で並んでいることから、六番御蔵の基礎等に関連した石列である可能性が高い。

4 当面の対応

- ・文化庁に対し、き損届を提出。(3月12日提出済み)
- ・き損が生じた経緯及び原因の仔細な究明を行う。
- ・現況を精査し、遺構のき損状況の正確な記録を作成する。
- ・今回のき損の重大さに鑑み、徹底した再発防止策、石列の詳細な調査、石列の修復方法について、有識者及び文化庁の指導・助言を得ながら検討する。



<備考>名古屋城重要文化財等展示収蔵施設について

- ・名古屋城の重要文化財名古屋城旧本丸御殿障壁画等を収蔵・展示する施設
- ・平屋建 1,482 m²
- ・令和2年9月開設予定



写真1 き損直後の現場状況／北から



写真2 き損直後の石列石材状況／北から



写真3 き損直後の石列残存状況／北東から



写真4 き損直後の石列残存状況現場状況／東から

市指定文化財の修理等に対する 補助金の拡充

①補助金交付要綱で定める補助率上限での補助の実施

補助金交付要綱で定める補助率上限である70%での補助を実施
(平成20年度から30年度は上限70%の7割である49%で補助)

	件数	金額
平成30年度(実績)	30件	3,810千円
令和元年度(見込)	29件	13,475千円

②山車庫の修繕等文化財本体以外に対する補助の実施

今まで補助の対象外となっていた山車庫修繕等文化財本体以外に
対する補助を新たに実施(補助率35%)

山車庫修理 件数: 4 件 補助額: 840千円

③建造物に対する緊急防災対策の実施

・消防法違反の是正のため、自動火災報知設備が未設置の建造物に
について設置費用を全額補助する緊急防災対策を実施

件数: 3 件 補助額: 5,489千円

・個人所有者の建造物文化財について、自動火災報知設備保守・点検
費用の補助を新たに創設(補助率50%)

歴史の里しだみ古墳群



1 概要

平成 26 年 10 月に国の史跡に指定された志段味古墳群のガイダンス施設として敷地内に整備していた「体感！しだみ古墳群ミュージアム（愛称：SHIDAMU（しだみゅー）」が平成 31 年 3 月 30 日、31 日のオープニングイベントを経て平成 31 年 4 月 1 日にフルオープンした。



2 体感！しだみ古墳群ミュージアム来館者数（3 月 1 日現在）
154,591 人（臨時休館：3 月 2 日～3 月 31 日）

3 イベント等



しだみゅー春まつり（5 月 5 日）



夜の音楽会 in しだみ古墳群（7 月 28 日）



しだみゅー秋まつり（11 月 10 日）



お家で埴輪プロジェクト（2 月 23 日）



講演会（毎月 1 回）



来館者 10 万人達成記念（9 月 23 日）

4 企画展示

- ・志段味大塚古墳の副葬品（4 月 1 日～6 月 23 日）
- ・古代の船（7 月 2 日～9 月 16 日）
- ・「土」と「木」の立物～高塚古墳と能田旭古墳～（10 月 1 日～12 月 15 日）
- ・松ヶ洞古墳群～庄内川流域の初期群集墳～（1 月 7 日～3 月 15 日）（ミニ展示）
- ・伊勢山中学校遺跡の竪穴住居跡（6 月 25 日～6 月 30 日）
- ・名古屋城三の丸遺跡の古墳（9 月 18 日～9 月 29 日）
- ・長久寺遺跡の埴輪棺（12 月 17 日～1 月 5 日）



古代の船

5 西大久手古墳の発掘調査体験

発掘調査に際して、市民に古墳（埋蔵文化財）や発掘調査への理解を深めてもらうため、参加者を一般募集し、実施した。

- ・事前説明会 10 月 5 日、10 月 6 日
- ・発掘調査体験 10 月 17 日～11 月 10 日
10 名（各組）×8 組（各組 2 日）＝80 名
- ・現場説明会 11 月 10 日 ・成果報告会 1 月 25 日



発掘調査体験

埋蔵文化財の調査と普及啓発

松ヶ洞18号墳発掘調査の概要

調査場所 名古屋市守山区竜泉寺二丁目
調査期間 令和2年2月中旬～令和2年3月31日
調査原因 宅地造成と住宅建設

調査の成果

墳丘の形態 円墳
墳丘の規模 直径約13.0m、高さ約0.8m
埋葬施設 木棺直葬
埋葬施設の規模 長さ約2.4m、幅約約0.7m
出土品 鉄剣、管玉、鉄鏃、須恵器、埴輪
特徴 埋葬施設に赤色顔料、周圈や小口に粘土を用いて被覆していた。
埴輪は墳丘の東側の裾に1～2mの間隔を置いて7個立てられていた(うち、1か所は抜きとり穴)。
墳丘の西側裾から須恵器が出土した。
年代 須恵器や埴輪から5世紀後半から6世紀初頭頃に造られたと推定される。

写真(上)松ヶ洞18号墳の調査
写真(中)松ヶ洞18号墳の埋葬施設
写真(下左)鉄剣



埋蔵文化財の普及啓発

ミニ展示「尾張元興寺跡出土品」展(写真)
場所: 名古屋都市センター 11F
期間: 令和元年11月～令和2年3月

展示「高蔵遺跡出土品」展
場所: 名古屋市博物館2Fフリールーム
期間: 令和2年3月25日～令和2年5月29日





未指定の「祭り」魅力発信の支援

地域で育まれた祭りのうち、文化財として指定されていないため、十分な支援が行われていなかった祭りへの新たな支援策として、祭りの奥深さや祭りに携わる方々の思い、文化財的な価値などを伝える冊子を作成する。

冊子を読んだ市民が祭り会場へ実際に足を運び、祭りの応援団になっていただくことにつなげる。

「発見！！地域の祭り

～身近なまちの文化財ガイドブック～

- 規格 A4版16ページ(両面4色刷)
- 印刷部数 6,000部
- その他 市内50か所で無料配布



紙面の一例(大高祭り)

掲載する祭り

- 大高祭り<緑区>
- 針名神社天王祭
(提灯トボシ)<天白区>
- 一色祭り<中川区>
- 洲崎神社
ちょうちん祭<中区>
- 蛇池神社
万灯流し大祭<西区>
- 烏森三社秋祭り
<中村区>
- 鍬形祭り<南区>

令和2年
3月末日刊行

(2) 令和元年度文化財保護室事業報告

第1 文化財保護事業等

1 文化財保護事業補助

(1) 趣旨

文化財の保存管理は所有者が行うことが原則であるが、その経済的負担は過大である。文化財は公共的性格をもつことから、その保存・修理等に対して助成を行っている。

* 根拠法令等：名古屋市文化財の保存及び活用に関する条例
名古屋市文化財保存修理費等補助金交付要綱

(2) 補助対象事業

文化財の管理・修理・復旧・公開・後継者育成、その他保存・活用に必要な事業

(3) 指定文化財修理補助

文化財の管理・修理・後継者育成等に要する経費の一部を補助

<令和元年度実績(見込)>

市指定文化財修理等：19,804千円

建中寺本堂修理・有松天満社文嶺講唐子車水引幕・布袋車大幕の復元新調はじめ32件

(4) 補助率

①市指定文化財

補助対象経費の70/100以内

②未指定であるが特に教育委員会が必要と認める文化財

補助対象経費の40/100以内

③防災設備等

補助対象経費の90/100以内

④文化財本体以外の修理

補助対象経費の35/100以内

⑤個人所有建造物の自動火災報知設備保守点検

補助対象経費の50/100以内

※平成22年度に国・県指定文化財に対する本市からの補助金を廃止

※平成26年度から、国庫補助も活用し補助を実施(実行委員会)

<令和元年度実績(見込)>

市指定無形民俗補助等：12,358千円

大森天王祭山車奉賛会の大森天王祭に使用する山車修理、古出来町お祭り囃子保存会の出来町天王祭に使用する大将人形王義之の修理はじめ21団体

2 文化財調査委員会

(1) 委員会の職務権限

- ①市指定文化財の指定、解除等について意見を述べる。
 - ②文化財の保存・活用に関する専門的事項を調査、審議する。
- * 根拠法令等：名古屋市文化財の保存及び活用に関する条例

(2) 構成

- ①定員 20 名以内（現在 16 名）、任期 2 年（平成 30 年 4 月に改選）
- ②委員による専門部会を構成
 - a 建造物・町並み b 美術・工芸 c 文書・典籍 d 無形・民俗 e 考古・埋蔵
 - f 史跡・名勝・天然記念物

(3) 令和元年度の委員会開催について

- ・総会 2 回 (R1. 7. 26、R2. 3. 27)
- ・部会

建造物・町並み部会関係 4 回

- R1. 5. 21 相応寺に係る調査
- R1. 10. 9 楊揮荘伴華楼に係る現地指導
- R2. 2. 12 料亭か茂免に係る調査
- R2. 2. 18 丹羽家住宅に係る現地指導

文書典籍部会関係 2 回

- R1. 5. 13 名古屋大学付属図書館医学部分館の歴史資料に係る調査
- R2. 3. 19 名古屋大学付属図書館医学部分館の歴史資料に係る調査

3 文化財保護事業等

(1) 史跡名勝標札の設置・管理

- ①設置の目的
史跡・名勝などの所在地にその由緒などを案内する標札を設置し、普及を図るもの。
- ②設置本数 (R2. 3 末まで)
307 本 (内 一時撤去中 5 本)
- ③令和元年度の新設 (3 本)
 - ・鳴海八幡宮御旅所跡 (緑区) R1. 8 設置
 - ・込高新田堤防 (緑区) R2. 3 設置
 - ・丹下砦跡 (緑区) R2. 3 設置

(2) 印刷物等の刊行

文化財や郷土の歴史等について紹介し、その理解を深めるための資料とし、文化財を記録保存するために文化財叢書・文化財調査報告書等を刊行する。

<令和元年度実績>

- ・埋蔵文化財調査報告書 86 高倉遺跡 発掘調査報告書

(3) 山車行事の総合調査

平成 30 年度より名古屋南部東海道周辺の山車行事調査事業を開始した。検討会議を立ち上げるとともに、秋季の祭礼調査を実施し、令和 2 年度の報告書刊行に向けて原稿執筆作業をすすめた。

(「有松祭り」「鳴海表方祭礼」「鳴海裏方祭礼」を調査、その他「大高祭り」「桶狭間神明社祭」「本地星宮祭り」「七所神社祭礼」「富部神社祭礼」等の基本情報を収集。)

(4) 文化財パトロール員の運営

①目的

教育委員会が依頼した文化財パトロール員が、市内文化財の保存管理状況(文化財の状態、環境、標札など)を定期的に巡視し、文化財保護室に状況報告を行う。報告を受けた文化財保護室は適切な保護対策を講じる。

②人数(令和元年度)

17名(千種区1名、東区1名、北区1名、西区1名、中村区1名、中区3名、昭和区1名、瑞穂区1名、熱田区1名、中川・港区1名、南区1名、守山区1名、緑区2名、名東・天白区1名)

(5) 史跡等の管理

教育委員会所管の史跡等の管理

①史跡周辺住民等に管理を委託

千鳥塚(市指定)、丸根砦跡(国指定)、今川義元戦評の松

②除草等

大塚・赤塚古墳(2回)、銚ノ木貝塚(1回)、大高城跡(2回)、豊臣秀吉母宅跡樹木剪定(1回)、上野収蔵庫敷地内(1回)

(6) 史跡散策路事業

地域における文化財の活用とともに、文化財保護意識の普及を図り、ゆとりと潤いのあるまちづくりに資するため、昭和 56 年度から昭和 63 年度にかけて史跡等(全体の総数 846)を連絡させた散策路を設定した。市民の自由利用のほか、各区でウォーキングイベント等を実施し、地域の史跡等文化財を紹介している。

①コース数

80 コース(1区あたり 3~6 コース)

全延長は 382.5 キロメートル(名古屋城コースは自由散策につき除く)

②整備内容

コース起点(地下鉄駅周辺などに設定)にイラストでコース全体とそこにある史跡を紹介する説明板を、コース途中には誘導標識を設置し利便を図っている。

③史跡散策路案内パンフレット

利用者が、散策を楽しめるよう案内用パンフレットを各区役所にて作成。平成 21 年度よ

り、名古屋市ホームページに史跡散策路PDFファイルを掲載している。

④標識等の管理

各区役所にて修繕・管理等を行い、区役所からの申し出に応じ、修繕経費を文化財保護室予算にて執行する。

<令和元年度実績（R1.2末まで）>

実施区（東・昭和・南・港・熱田）

支柱の取替・補強、案内板・誘導板の補修（表示内容の修正や損傷した板の取替）、標識の移設等を実施した。

（7）後援名義

市民一般の芸術・文化の振興を図る目的を持って行われる公共性の高い事業に対し、「名古屋市教育委員会後援」名義の使用を承認することにより、市民の文化・芸術活動を支援する。

<令和元年度実績（R1.2末まで）>

452件

（8）歴史文化基本構想

平成29年3月に市内各地域にある様々な文化財を指定の有無や種類の違いに関わらず、地域の文化財の保存活用の方針についてまとめた、名古屋市歴史文化基本構想を策定した。歴史文化基本構想を策定した自治体を対象とした文化庁の補助（観光拠点形成重点支援事業）を活用し、「なごや歴史文化活用協議会」を立ち上げ、この構想を実現するための事業実施に努めている。

<令和元年度実績>

① 文化財観光基盤情報アプリ「なごや歴史探検」の多言語化強化等

○文化財観光基盤情報アプリ「なごや歴史探検」の多言語翻訳業務

・200地点を4カ国語（中国繁体・中国簡体・英語・韓国語）に翻訳

○多言語化およびコンテンツ強化等に対応した文化財観光基盤情報アプリの改修

・歴史観光コンテンツ作成（名古屋観光コンベンションビューロー実施）

・歴史地図表示レイヤーの追加（城下デジタルマップ、明治24年地形図の追加）

② 名古屋城から美濃路への観光誘導事業（西区役所実施）

・道標の製作・設置

・街歩きマップの作成

③ 「Go!Go!しだみ古墳群」コンテンツの強化を図るためのアプリ改修業務

・熱田区の古墳（高蔵古墳群、断夫山古墳、白鳥古墳）を巡る「あつたクエスト」を追加

④ 身近なまちの文化財を紹介するパンフレットの作成

・市内の未指定文化財を取り上げたパンフレットの作成

⑤ 事業広報チラシの作成

⑥ 集客施設を起点としたウォーキング事業の実施

・ウォーキング事業の実施

・ガイドマップの作成

⑦ 「歴史文化基本構想で読み解く名古屋歴史ガイドブック」の作成

第2 遺跡の発掘調査

1 業務の概要

民間事業、区画整理事業、公共事業等の実施にともない破壊が避けられない遺跡（周知の埋蔵文化財包蔵地）について、工事着手前に発掘調査等を実施する。また市内における国指定史跡等について、今後の保護を万全にするための範囲確認発掘調査を実施する。

2 発掘調査の流れ

(1) 届出・通知

<民間事業>

開発事業者と市教委の協議（→試掘）→発掘の届出

→市教委の指示（発掘調査、工事立会、慎重工事など）

* 根拠法令：文化財保護法第93条第1項

<公共工事>

開発事業者より県教委あて事業計画通知

→県教委の指示（発掘調査、工事立会、慎重工事など）

* 根拠法令：文化財保護法第94条第1項

<史跡等範囲確認>

史跡現状変更許可を得て発掘

* 根拠法令：文化財保護法第125条第1項など

(2) 発掘調査の実施

①開発事業等にかかる発掘調査については、開発原因者からの要請により市教委が調査を実施するほか、本市職員である学芸員が指導監督にあたる民間調査会社での調査も可能。

②国庫補助事業として実施する史跡等の範囲確認の発掘調査は、市教委が実施し、本市職員である学芸員が担当する。

(3) 調査の経費負担

①開発事業等については、文化財保護法の趣旨から原則として開発事業者の負担となる。ただし、個人住宅等の建設については、市教委が調査実施する場合、国庫補助を受けて市教委が実施し、事業者の負担はない。

②市の公共工事については、発掘にかかる予算は事業所管理局が負担

③国庫補助事業として実施する史跡等範囲確認については、市教委の予算を執行して実施する。

3 令和元年度発掘実績

<公共事業に伴う発掘調査>

・ H-G-8号窯

・ 歴史の里地区の発掘調査（【第3.「歴史の里」の整備】に再掲）

<民間開発事業に伴う発掘調査>

- ・瑞穂遺跡
- ・松ヶ洞 18 号墳

4 報告書作成等整理作業

令和元年度は「瑞穂遺跡」「高蔵遺跡」の報告書の作成を行った。

5 試掘調査・立会・その他

(1) 試掘調査・立会

周知の埋蔵文化財包蔵地での開発調査行為に対して、埋蔵文化財の保護上必要な遺跡の範囲、遺跡状況等を確認し、発掘調査の要否を検討する判断材料として数箇所を掘削する試掘調査及び埋蔵文化財への影響が軽微な工事の立会を実施する。

<令和元年度実績>

高蔵遺跡始め 12 件の試掘調査を実施した。また、立会通知は H-G-6 号窯始め 182 件を通知した。

(2) その他 監督業務等

<令和元年度実績>

仁所遺跡始め 4 件を実施した。

6 活用

(1) 長期貸出

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

・名古屋市博物館	大曲輪遺跡出土品など	計 184 点
・瀬戸蔵ミュージアム	御影町窯跡群出土品など	計 3 点
・名古屋市立片平小学校	清水寺遺跡出土品など	計 10 点
・名古屋市立旗屋小学校	高蔵遺跡出土品	計 43 点
・名古屋市高蔵保育園	高蔵遺跡出土品	計 8 点
・西環境事業所	堀越町遺跡出土品	計 6 点
・水の歴史資料館	幅下小学校出土品など	計 31 点
・岩手県宮古市	須恵器など	計 21 点

(令和元年 7 月 1 日～令和 2 年 6 月 30 日)

・ミライエレクトハウス名古屋	富士見町遺跡出土弥生土器	計 1 点
----------------	--------------	-------

(2) 短期貸出

名古屋都市センター 平成 31 年 4 月 23 日～令和元年 7 月 21 日 始め 7 件

(3) 写真の掲載

名古屋市博物館 常設展示室フリールーム展示「中近世の石造物」 始め 13 件

第3 「歴史の里」の整備

1 趣旨

昭和56年、名古屋市文化財調査委員会から、守山区上志段味地区に残る古墳群を整備・保存する旨の提言をうけ、同地区の貴重な古墳群と周りの豊かな自然環境を将来にわたって守り伝えていくために整備したもの。

(位置) 守山区上志段味 大塚・大久手古墳群地区、白鳥塚古墳地区及び東谷山白鳥古墳地区

(面積) 約 72,750 m²

(大塚・大久手古墳群地区60,453m²、白鳥塚古墳地区11,176m²、東谷山白鳥古墳地区1,121m²)

2 「歴史の里」計画及び整備の進捗状況

- ・昭和56年度 名古屋市文化財調査委員会が河岸段丘地形と古墳群の保存、整備を提言
- ・昭和63年度 名古屋市新基本計画に「歴史の里」の整備を登載
- ・平成17年度 「歴史の里」事業予定地内の埋蔵文化財発掘調査を開始
- ・平成20年度 「歴史の里」基本構想を策定
- ・平成22年度 埋蔵文化財発掘調査報告書(志段味古墳群)を作成
- ・平成25年度 「歴史の里」基本計画を策定
埋蔵文化財発掘調査報告書(志段味古墳群Ⅱ)を作成
- ・平成26年度 緑地・古墳の実施設計、ガイダンス施設等調査・保存管理計画の策定
- ・平成27年度 緑地・古墳の整備
- ・平成28年度 部分供用開始
- ・平成29年度 ガイダンス施設的设计・建設
- ・平成30年度 ガイダンス施設「体感!しだみ古墳群ミュージアム」の完成
- ・平成31年度 「歴史の里しだみ古墳群」供用開始

3 埋蔵文化財発掘調査

守山区の上志段味地区に残る古墳群や自然資源を活用し、古墳時代などの歴史学習と自然体験ができる体験型の施設として「歴史の里」整備のため、計画地内の埋蔵文化財の基礎データを得る確認調査を平成17年度より行っている。

<令和元年度発掘調査実績>

- ・西大久手古墳
- ・時期：令和元年10月7日～12月17日
- ・調査面積：約200m²

4 ガイダンス施設の概要

「体感!しだみ古墳群ミュージアム(愛称:SHIDAMU(しだみゅー))」は、公の施設として平成31年4月供用を開始した。

「しだみゅー」には、志段味古墳群の出土品等を展示する展示室、古代を体感できるプログラムや講座・講演会を行う体験活動室、レストランなどがあり、歴史を身近に感じた体験・学習を通

して幅広い世代が古代を体感し、楽しむことができる施設である。

(1) 来館者数

154,591人(3月1日現在、臨時休館:3月2日~3月31日)

(2) 季節の主なイベントの参加人数

19,890人

(3) 企画展示・ミニ展示

○企画展示

- ・志段味大塚古墳の副葬品(4月1日~6月23日)
- ・古代の船(7月2日~9月16日)
- ・「土」と「木」の立物~高塚古墳と能田旭古墳~(10月1日~12月15日)
- ・松ヶ洞古墳群~庄内川流域の初期群集墳~(1月7日~3月15日)

○ミニ展示

- ・伊勢山中学校遺跡の竪穴住居跡(6月25日~6月30日)
- ・名古屋城三の丸遺跡の古墳(9月18日~9月29日)
- ・長久寺遺跡の埴輪棺(12月17日~1月5日)
- ・志段味古墳群前史(3月17日~3月22日)※臨時休館に伴い中止

5 普及啓発事業

<令和元年度実施事業>

(1) 市内外での啓発事業

市内外で開催されるイベントを活用して、マスコットキャラクターの着ぐるみPRステージの出演など啓発事業を実施した。

(2) 小学生等を対象とした啓発事業

土曜日の学習授業の機会を活用して、勾玉作りの体験などを取り入れた啓発事業を実施した。(土曜学習2校実施、参加人数109人)

第4 見晴台考古資料館の運営

1 沿革

弥生時代後期から古墳時代にかけての集落跡を中心とする「見晴台遺跡」に関する資料の収集・保管、調査研究、展示等による教育普及活動を行う施設として昭和54年10月11日に開館。

2 主要事業（令和元年度）

（1）展示

展示テーマ	期間	内容
常設展「見晴台遺跡」	通年	弥生時代を中心に旧石器時代から太平洋戦争に至るまでの見晴台遺跡の代表的な出土品と最近調査中の成果を紹介。
地域連携「桜田中学校美術展」	R2.1.12 ～ R2.2.11	地元中学校区である、桜田中学校の生徒の作品を展示した。

（2）市民発掘

見晴台遺跡の発掘調査については本年度実施せず。

①（参考）29年度市民発掘（第57次見晴台遺跡発掘調査）

期間：8月4日～9月24日（市民参加期間）

参加者：105人（うち中学生18人）、延べ人数550人

② 市民発掘室内編

内容：発掘参加者を対象とした、より専門的な考古学調査の実際を学ぶ講座

参加人数：延べ64人（平成31年4月～令和2年2月実績）

（3）映画会

毎月第3土曜日に、歴史等に関連したDVDを上映。

（4）社会見学

令和元年度は、市内小中学校31校（小学校23校、中学校8校）、2,107人を受入（令和2年2月まで）

（5）地域連携事業

・桜田中学校美術展（再掲）

・2月9日 「南区東海道謎解きウォーク」南区役所主催の呼続公園をスタート地点とし、見晴台考古資料館をゴール地点とした街歩きイベントに協力した。

（6）イメージキャラクターの活用について

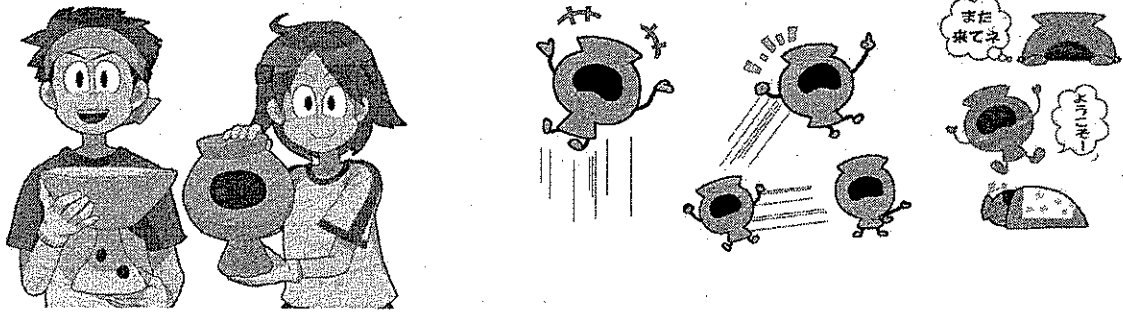
下に示したイメージキャラクターを活用して、来館者の方々に、館内施設の利用の仕方を分か

りやすく案内したり、子どもたちに関心をもってもらうように、展示内容を紹介したりした。

ダイ

ミハル

まるどん



見晴台遺跡から第1回発掘調査で発掘され、現在も展示されている珍しい形をした「円窓付土器（まるまどつきどき）」を「まるどん」と名付け、多くの場で活用してきた。ユーモアあふれるキャラクター性は、来館する子どもたちの「円窓付土器」への関心や親しみにつながった。

昨年度のガイシホールで開催された南区民まつりでは、来場者に好きな色に塗った「まるどん」缶バッジ作りに挑戦してもらい、お土産とした。パネルを使った見晴台考古資料館の魅力紹介では、現在資料館で展示されている様々な形の弥生土器や特色ある出土品を、キャラクター同士の掛け合いで面白く紹介する4コマ漫画を作成した。子ども連れの家族が、楽しそうに色塗りをしたり、熱心に会話しながらパネルを見たりする姿が見られた。

このようにイメージキャラクターを活用することで、見晴台考古資料館に少しでも関心をもってもらうようにした。

(7) その他

住居跡観察舎（※）の管理運営。

※住居跡観察舎

夏の発掘調査が終了すると埋め戻してしまい、通常は遺跡の状況を見ることができないことから、当時の農政緑地局が設置した公園施設（鉄骨造平屋建て、床面積 325.60㎡。昭和63年6月公開）。資料館との協議により、昭和61年の第25次発掘調査を住居跡が見つかる場所に設定し、その遺構の状況を強化プラスチックで復元し、1棟の竪穴住居を復元した。遺構の状況が観察でき、かつ住居がその場で復元されている施設としては全国初であった。

資料館では、緑政土木局との協定により、鍵の開閉・展示・機械警備等を教育の予算で実施している。

3 入館者数について

	開館 日数	入 館 者 数			1日 平均	団 体	
		高校生以上	中学生以下	計		団体数	人 員
年度	日	人	人	人	人		人
29年度	295	26,238	5,806	32,044	109	66	2,868
30年度	294	21,693	5,638	27,331	93	66	5,552
元年度 (令和2 年2月ま で)	273	16,202	7,514	23,716	87	71	4,168

名古屋市内の指定文化財件数

区 分		国宝	重要文化財	県指定	市指定	合 計	備 考
有形文化財	絵 画	0	15	17	12	44	R1.10.「紙本着色三十六歌仙切(貞則)/佐竹家伝来」紙本着色源宗千像(上巻本三十六歌仙切)H27.2.3に所有者変更のため削除
	彫 刻	0	5	9	7	21	R1.9.9新規「木造薬師如来坐像」「木造馬頭観音および熱田大明神・天照皇太神立像」
	工 芸	2	49	39	9	99	
	書 跡	4	43	18	0	65	R1.11「紙本着書正親町天皇宸翰御消息(關帝侍云々九条種運宛)」「寸松庵色紙(ちほやふる)」「石帆権衍墨蹟」「達磨大使安心法門(絹本)石溪心月筆」所有者変更のため削除
	建 造 物	0	11	12	29	52	
	考 古 資 料	0	2	6	3	11	R1.12.1記載「朝日遺跡出土品」(H24.9.6指定)の記載漏れ
	歴 史 資 料	0	2	4	4	10	
無形文化財	芸 能	0	0	0	2	2	
	工 芸 技 術	0	0	0	0	0	
民俗文化財	有 形	0	0	0	18	18	
	無 形	0	0	2	33	35	
記念物	史 跡	1	5	0	5	11	
	名 勝	0	1	0	1	2	
	天然記念物	0	1	0	3	4	
重要伝統的建造物群保存地区		0	1	0	0	1	
合 計		7	135	107	126	375	

(国) 選定保存技術	1
------------	---

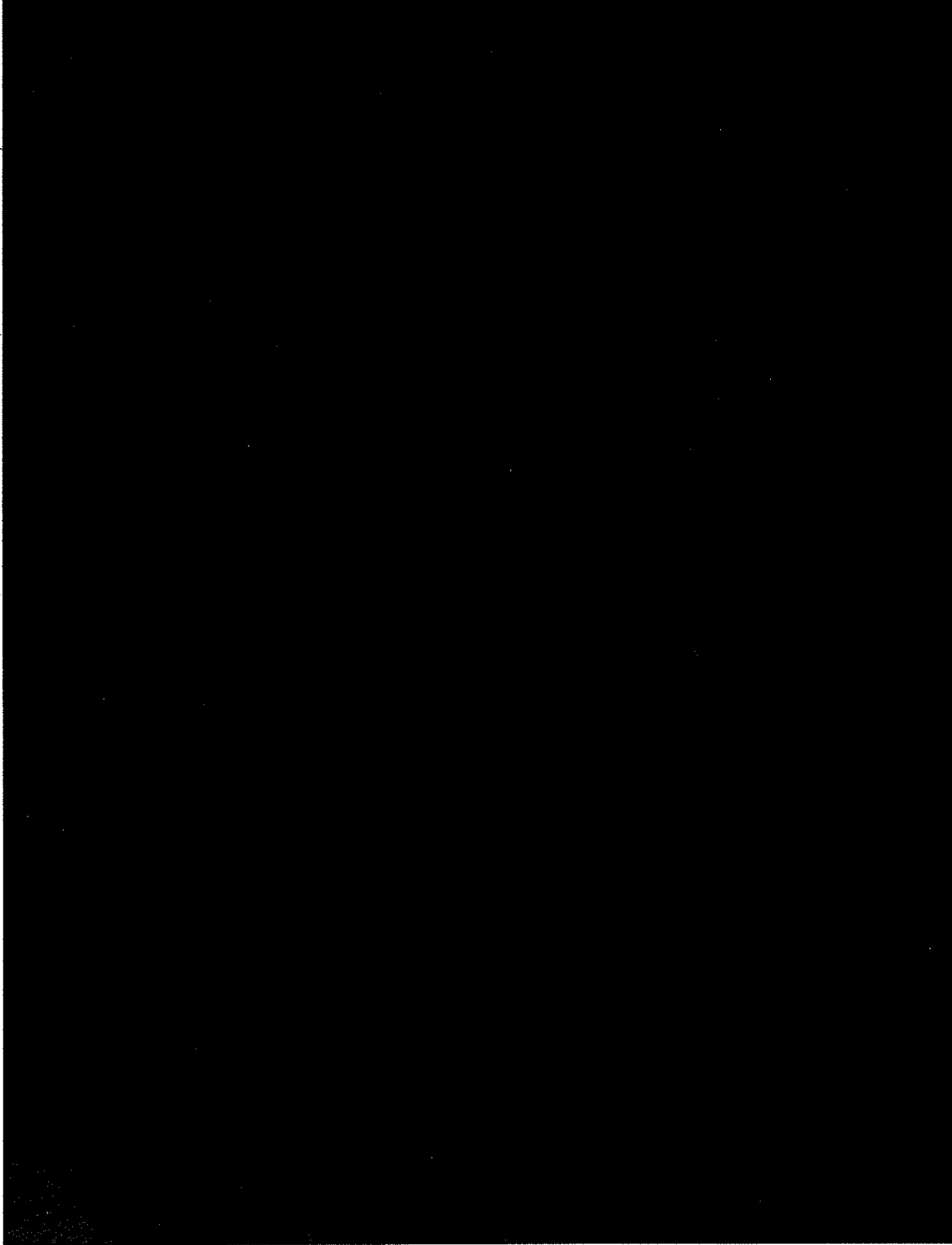
国 登 録 文 化 財	建造物	108
	記念物	1

※備考欄:今年度に変更があった内容を記入。

名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
----	------	------	----	-------

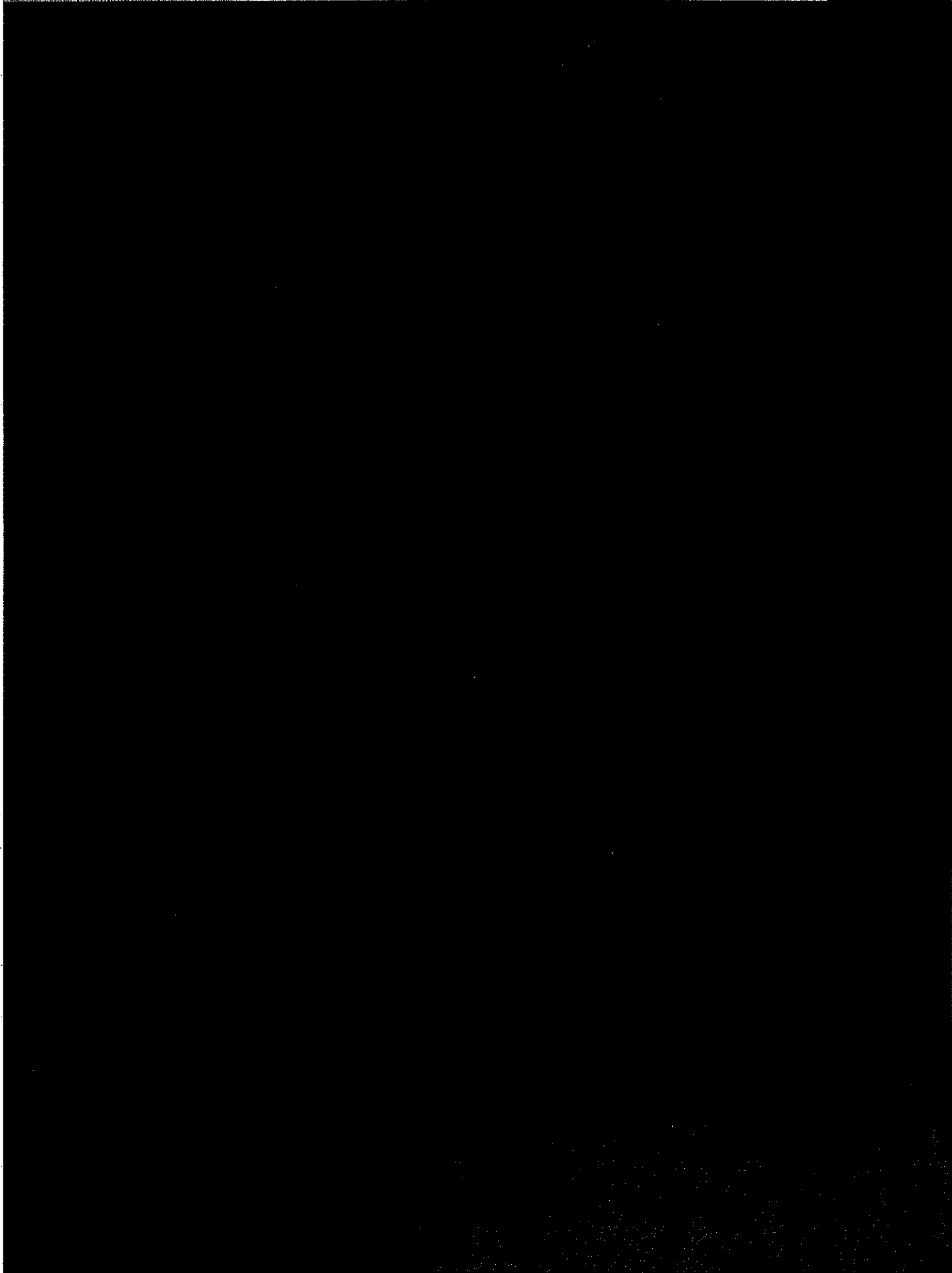
No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------



名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	件名等
-----	------	------	----	-----



No	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
----	------	------	----	-------

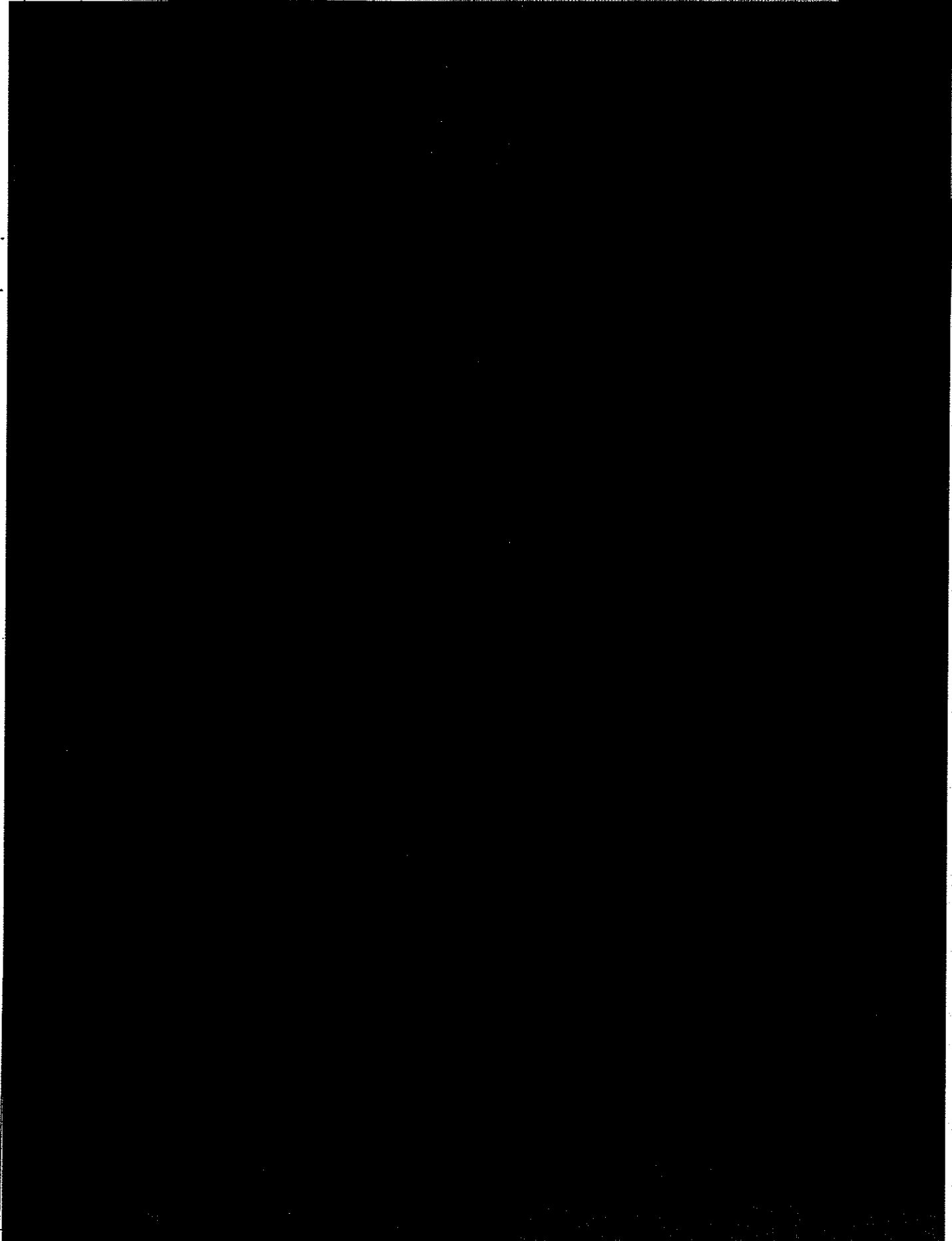
No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
[Redacted Content]				

No	資料ID	請求記号	巻号	次付等
----	------	------	----	-----

名古屋市文化財登録申請対象史料リスト1

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

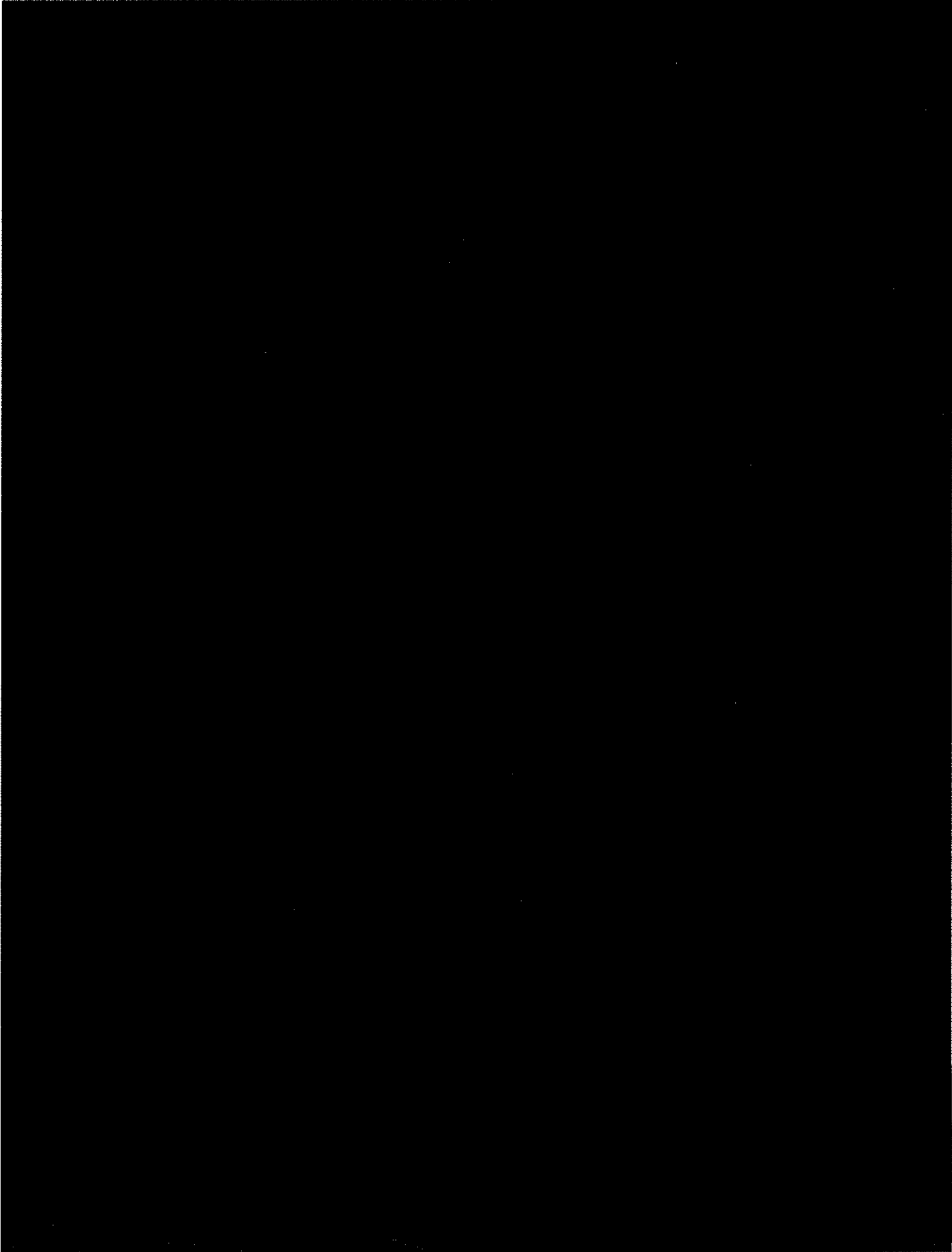
No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------



No.	資料ID	請求部号	巻号	タイトル等
[Redacted Content]				

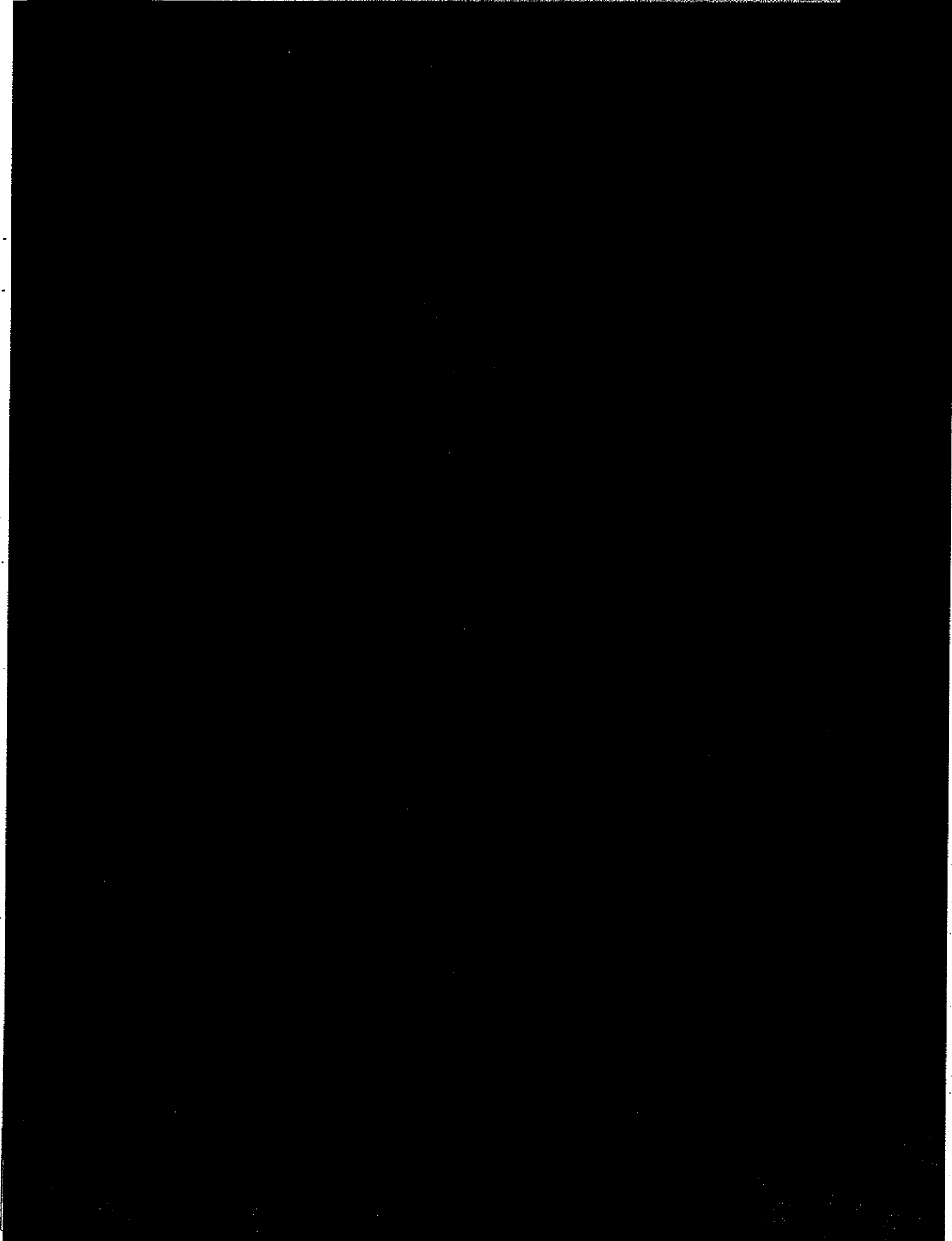
No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------



名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
----	------	------	----	-------

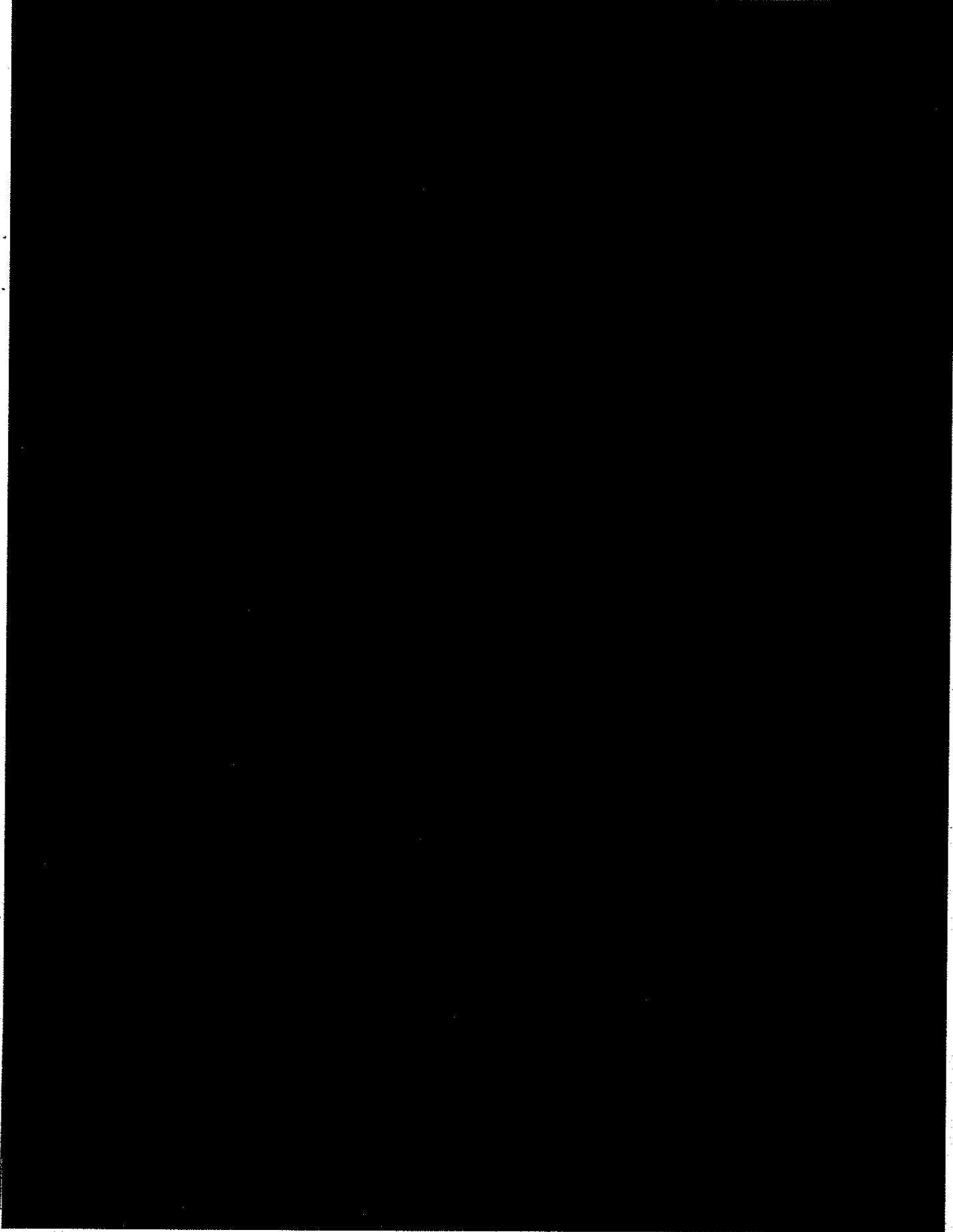


No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

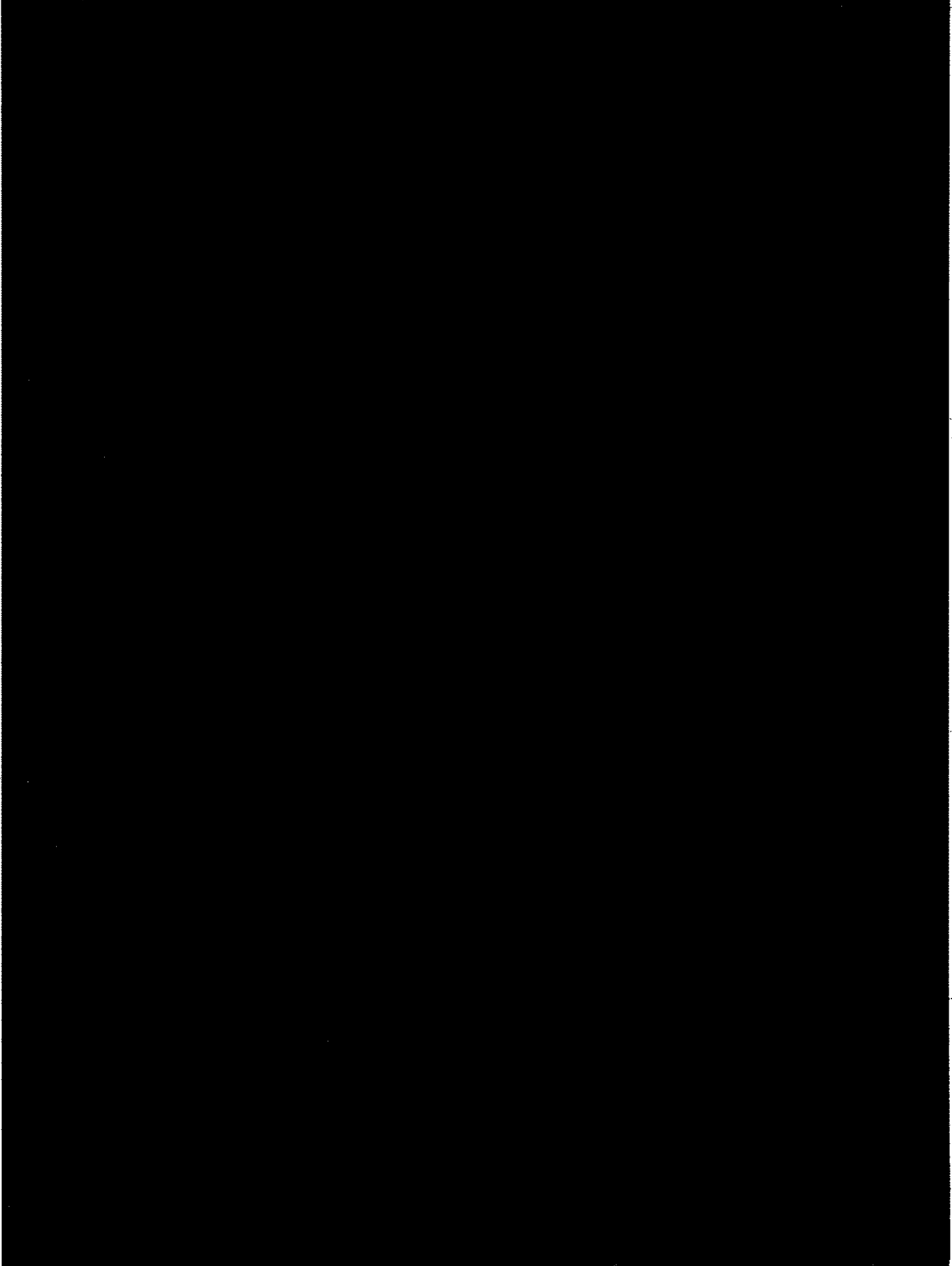
No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
[Redacted Content]				

No	資料ID	請求記号	巻号	区分等
----	------	------	----	-----



No.	資料ID	請求記号	巻号	頁数等
-----	------	------	----	-----

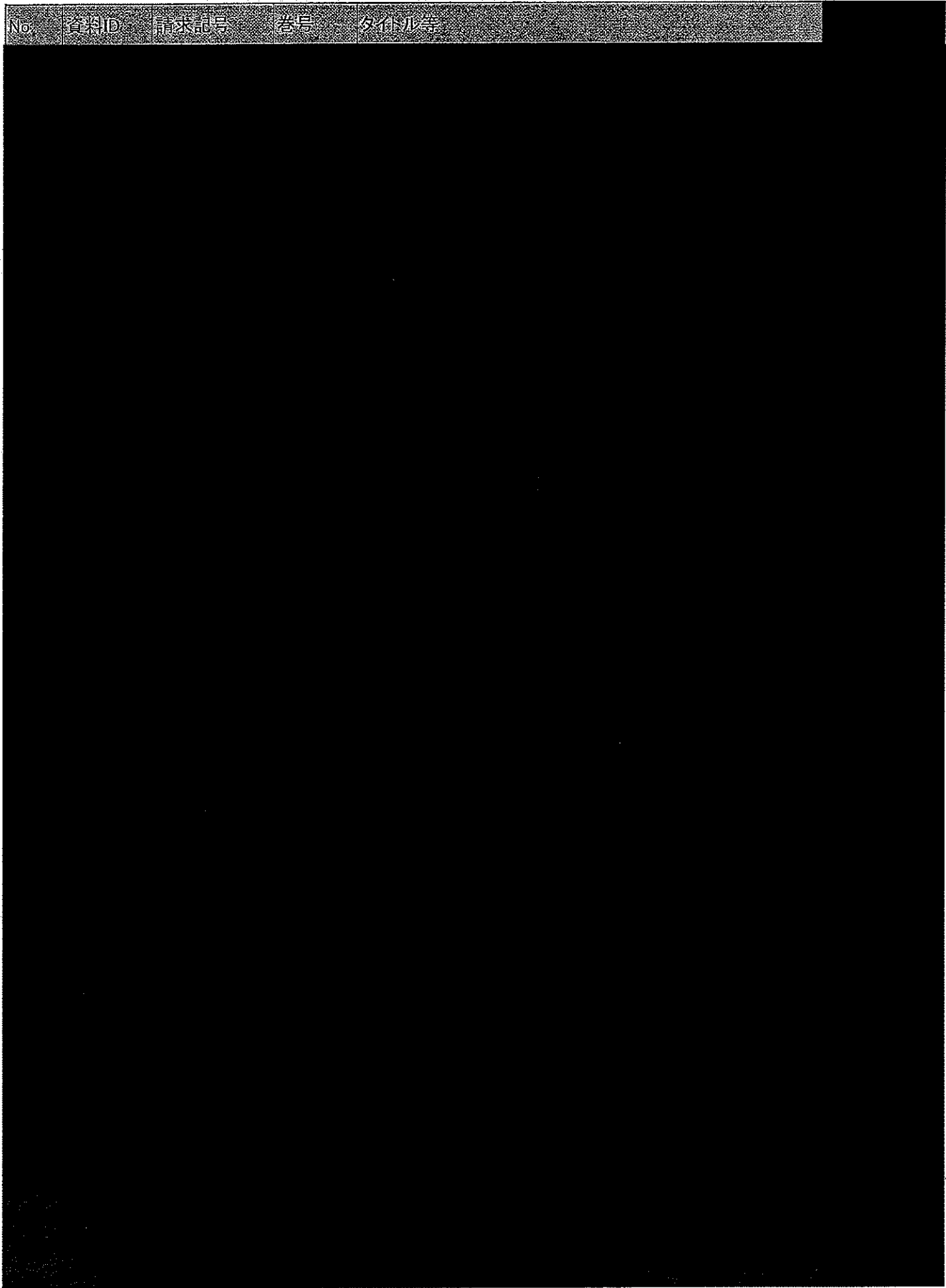


名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No.	資料ID	請求記号	巻号	名称等
-----	------	------	----	-----

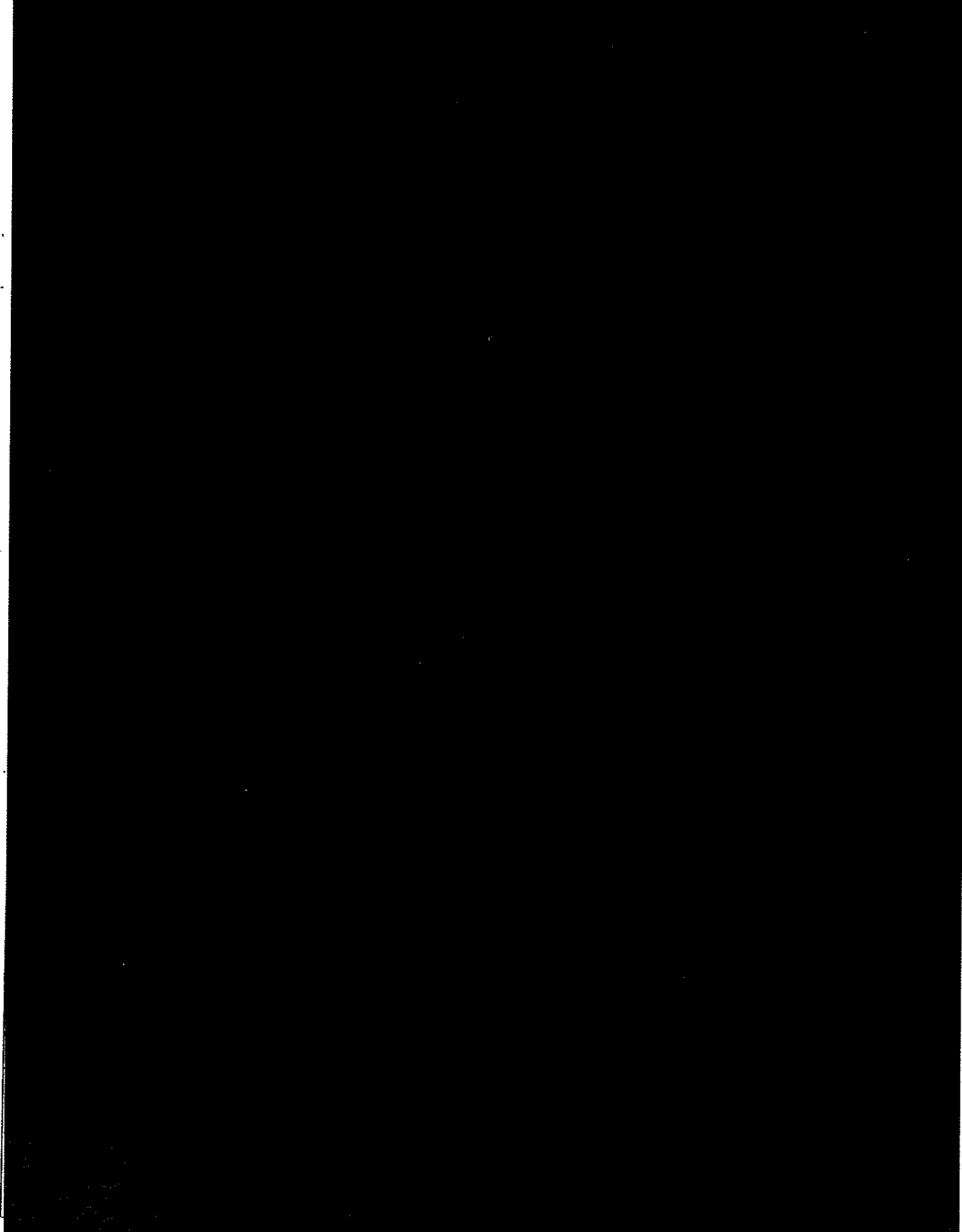


No	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

名古屋市文化財登録申請対象史料リスト1

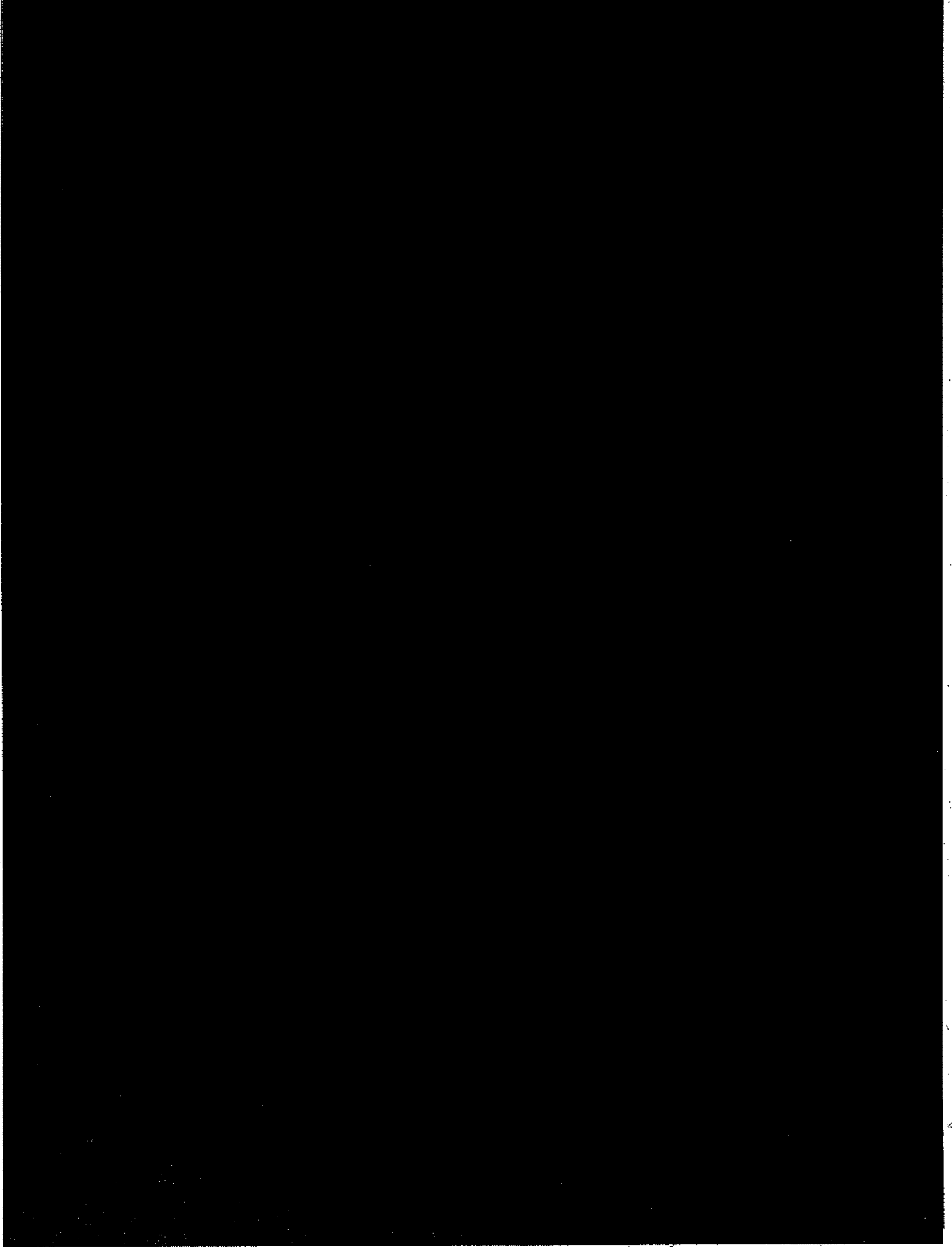
No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------



No.	資料ID	請求記号	巻号	文種別等
-----	------	------	----	------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

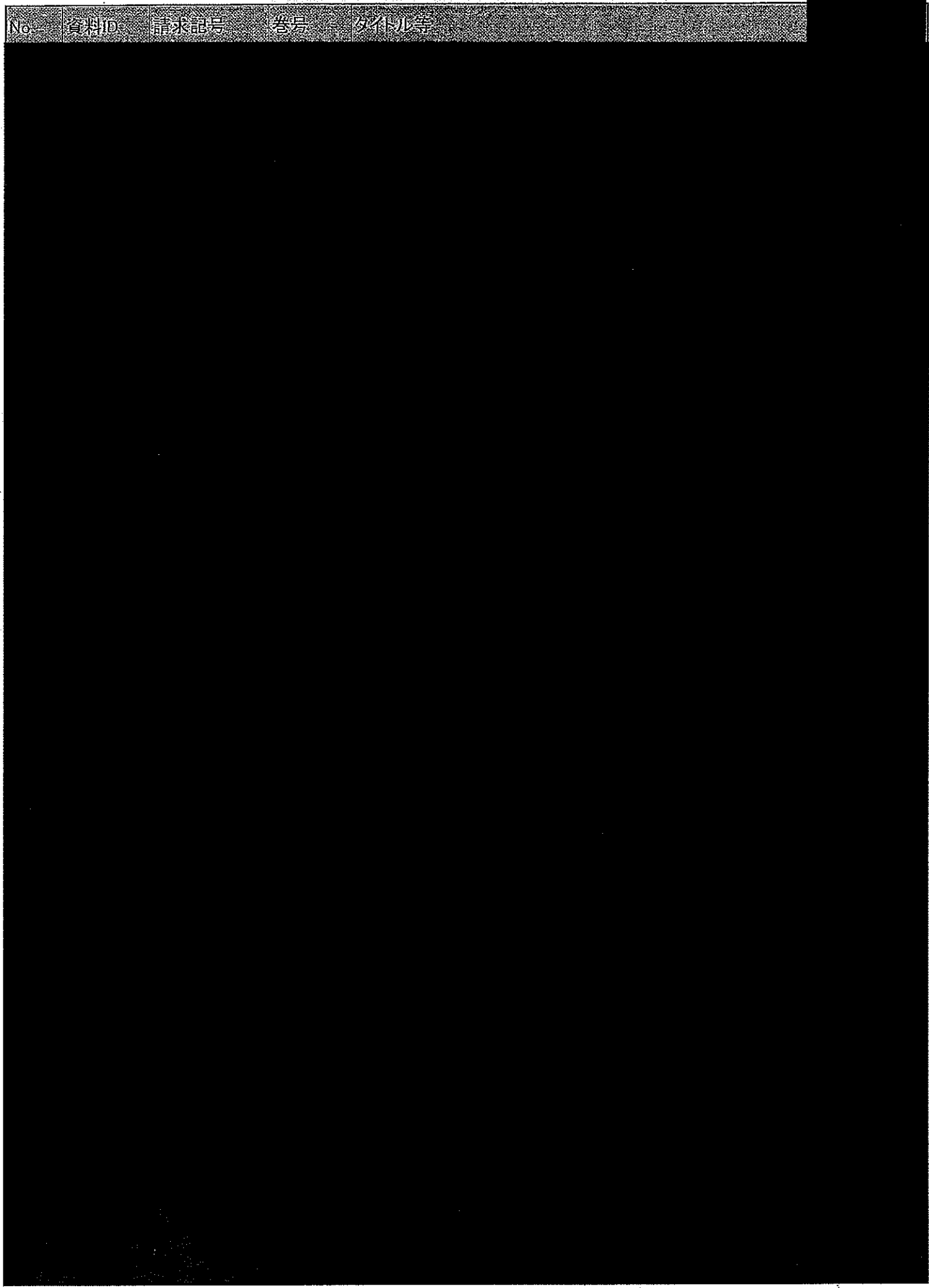
No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------



名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	外付別等
-----	------	------	----	------



名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No	資料ID	請求記号	巻号	及び別等
----	------	------	----	------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No	資料ID	請求記号	巻号	発行元等
----	------	------	----	------

No.	資料ID	請求記号	巻号	文種別等
-----	------	------	----	------

名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

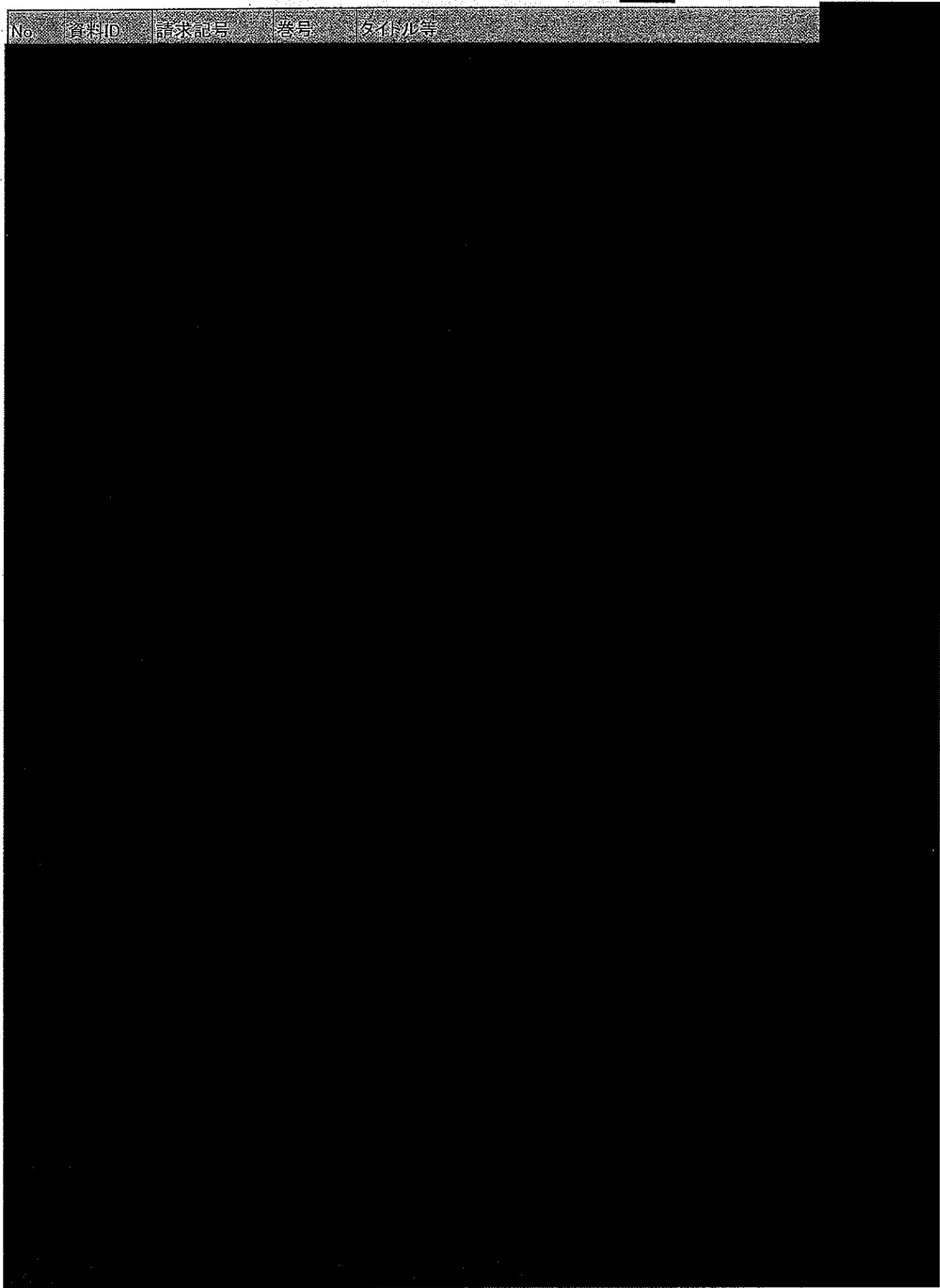
No.	資料ID	請求記号	巻号	件名等
-----	------	------	----	-----

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
[Redacted Content]				

名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

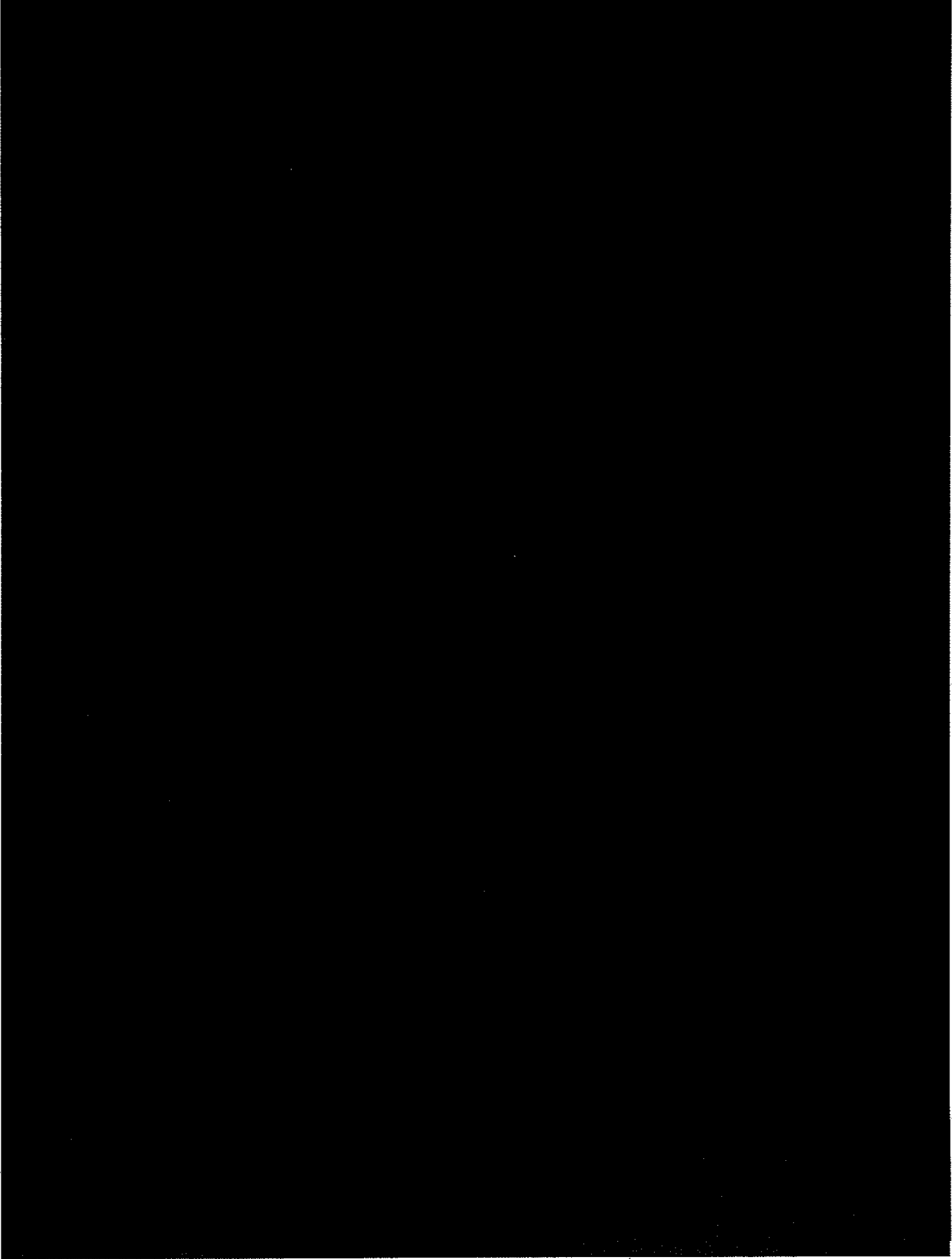


No	資料ID	請求記号	巻号	欠件 equal
----	------	------	----	----------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
[Redacted Content]				

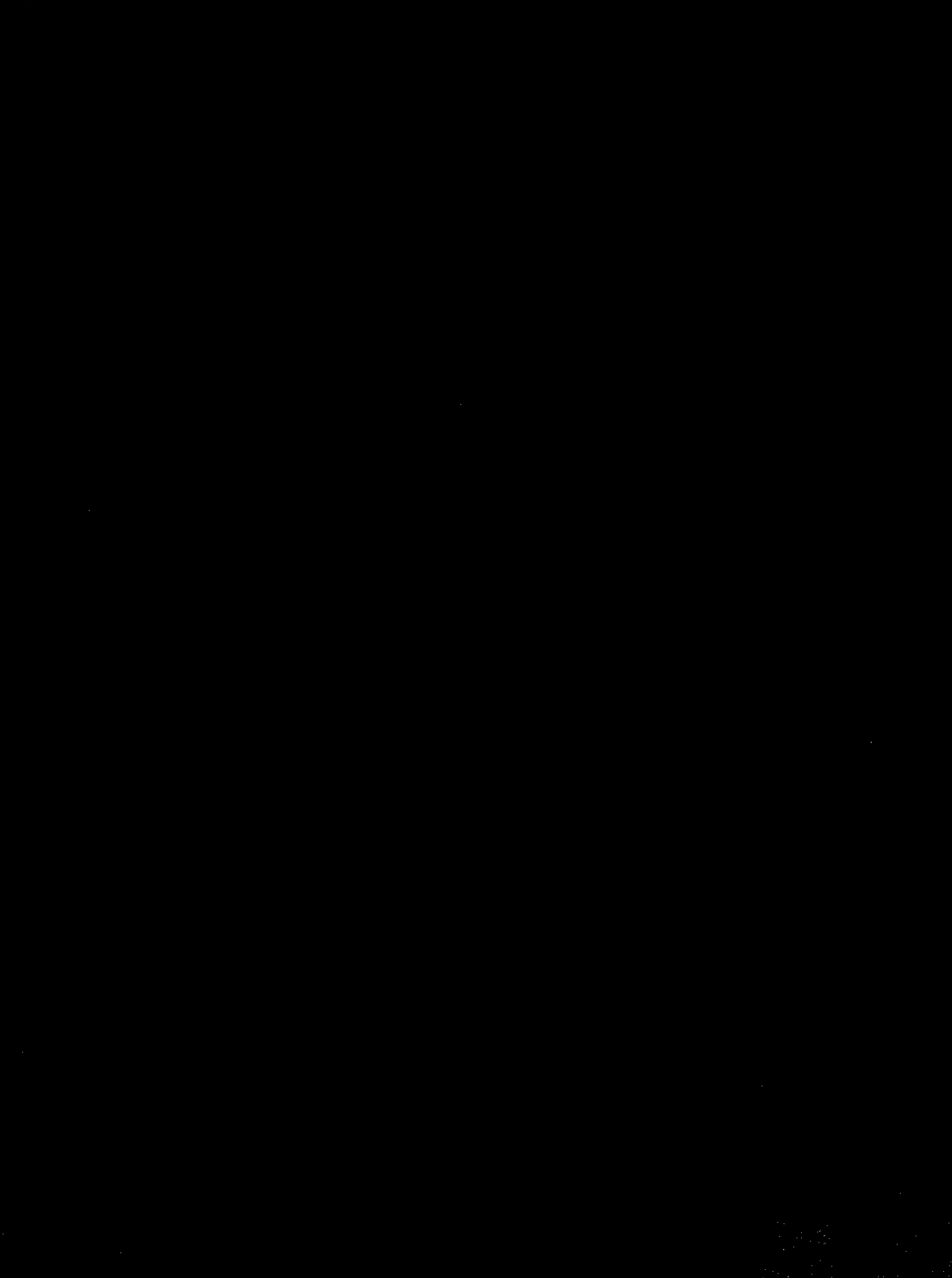
No.	資料ID	請求記号	巻号	交付年
-----	------	------	----	-----

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------



No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------



名古屋市文化財登録申請対象史料リスト1

No	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

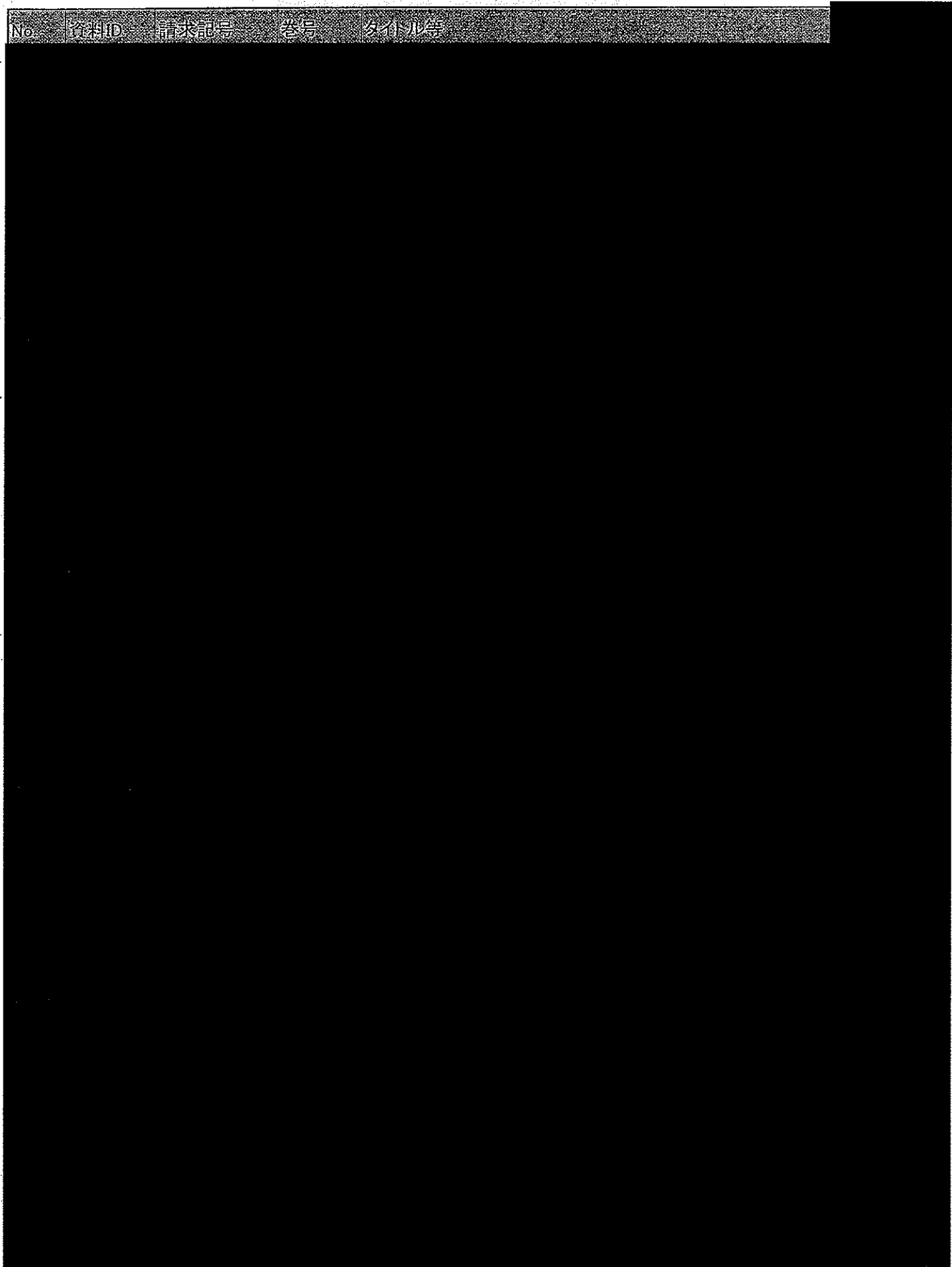
No.	資料ID	請求記号	巻号	交付ル年
-----	------	------	----	------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
[Redacted Content]				

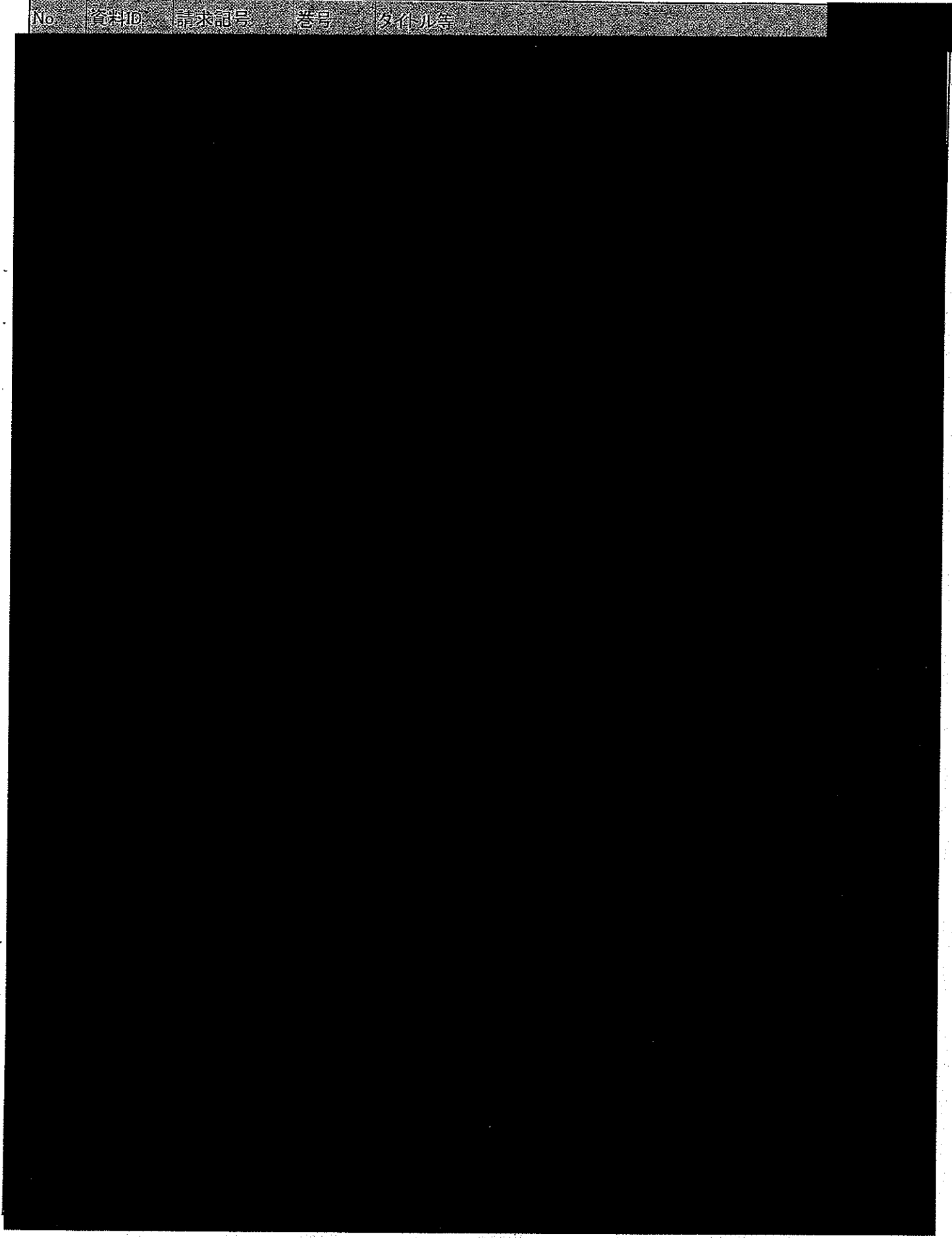
名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

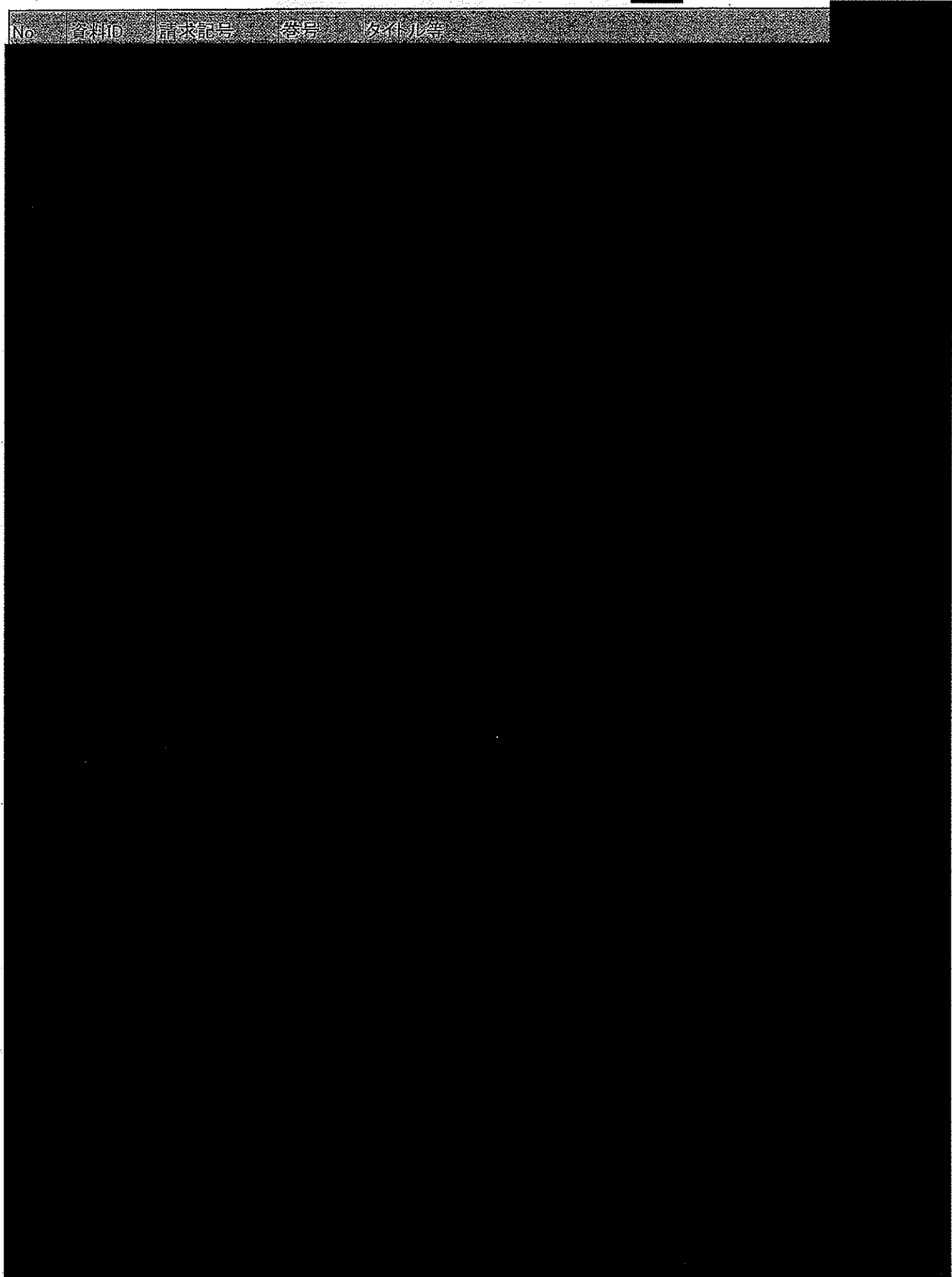
No.	資料ID	請求記号	巻号	区分等
-----	------	------	----	-----



No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------



No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------



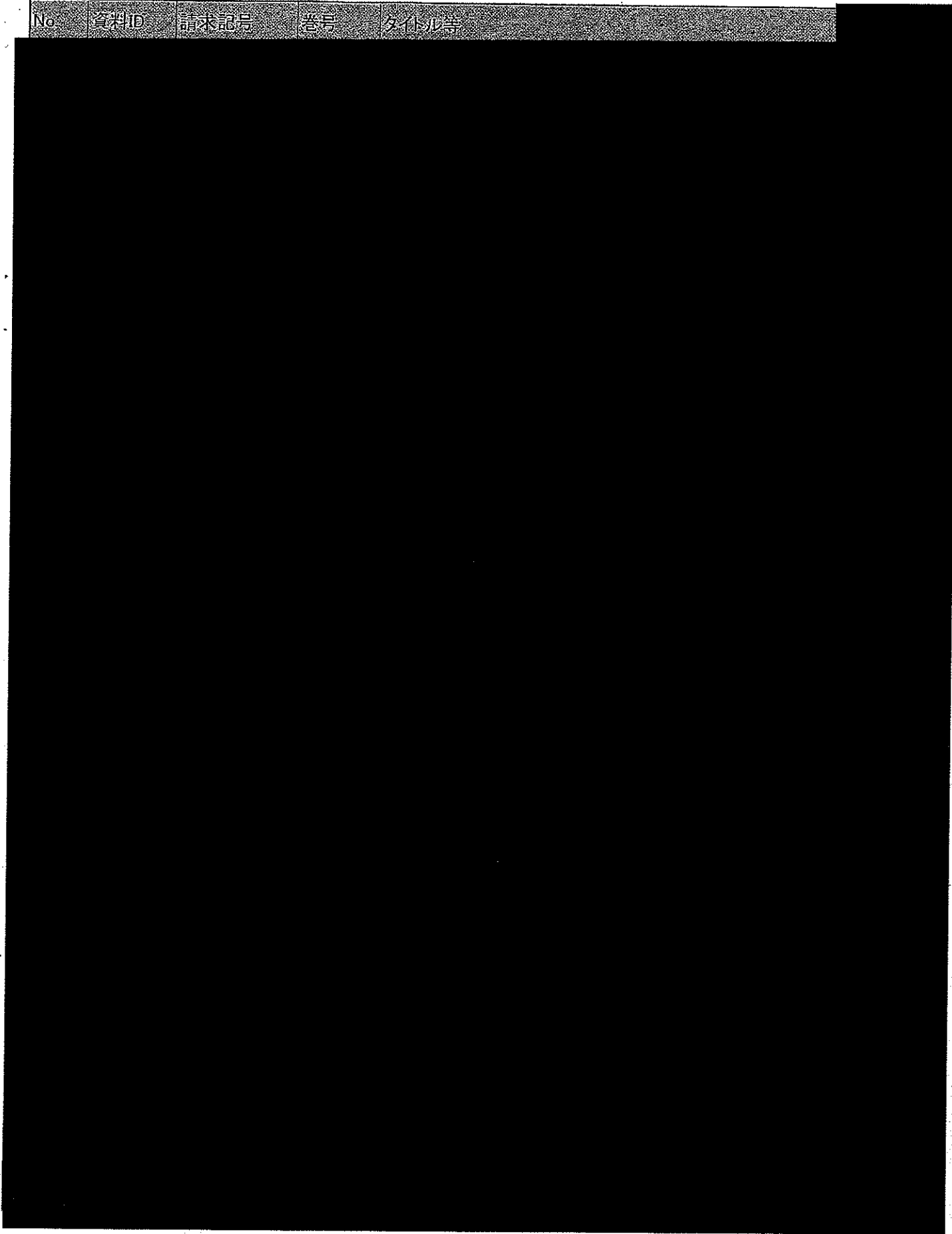
No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	外付巻等
-----	------	------	----	------

No	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	外付別号
[Redacted Content]				

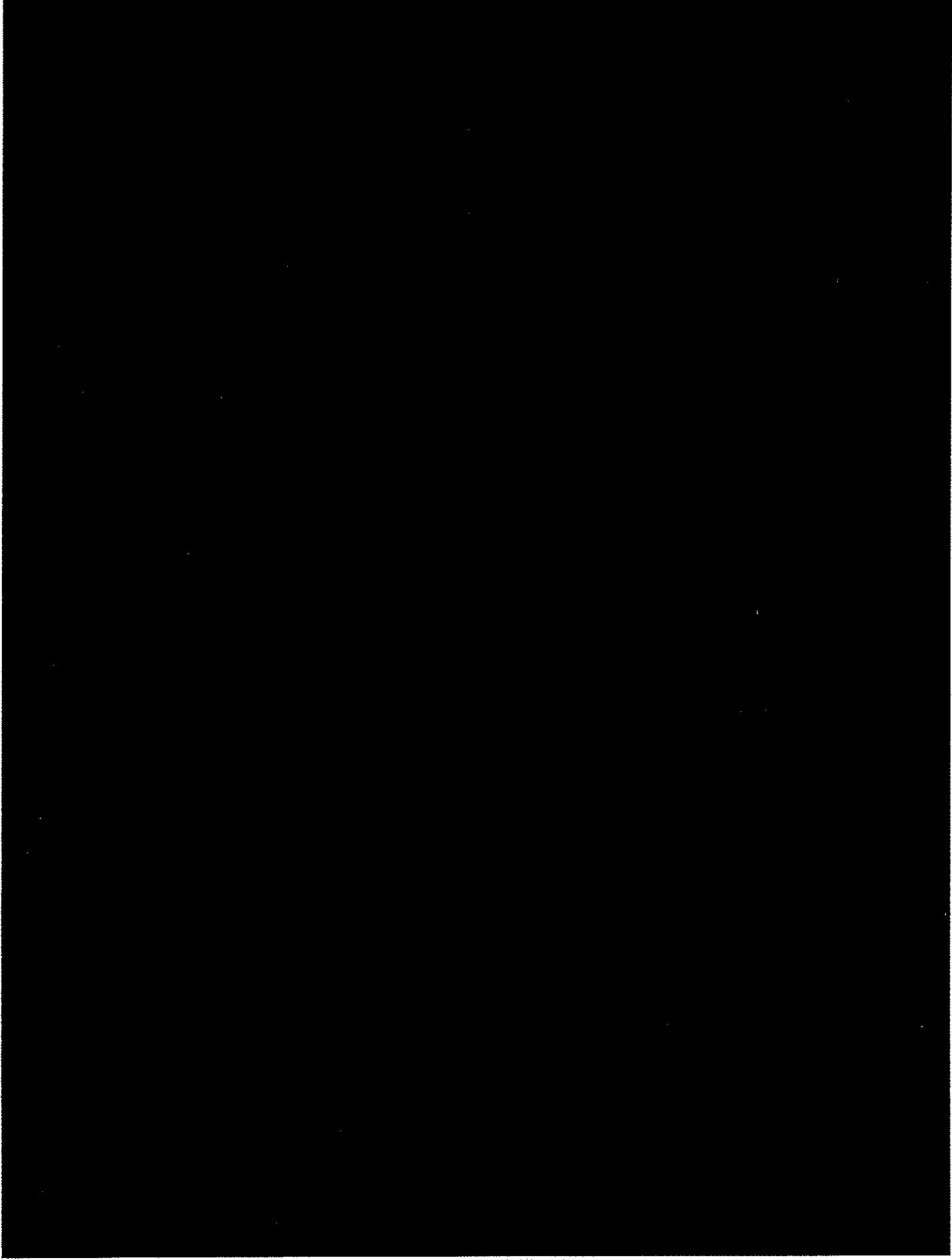
No	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
----	------	------	----	-------



No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
[Redacted Content]				

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------



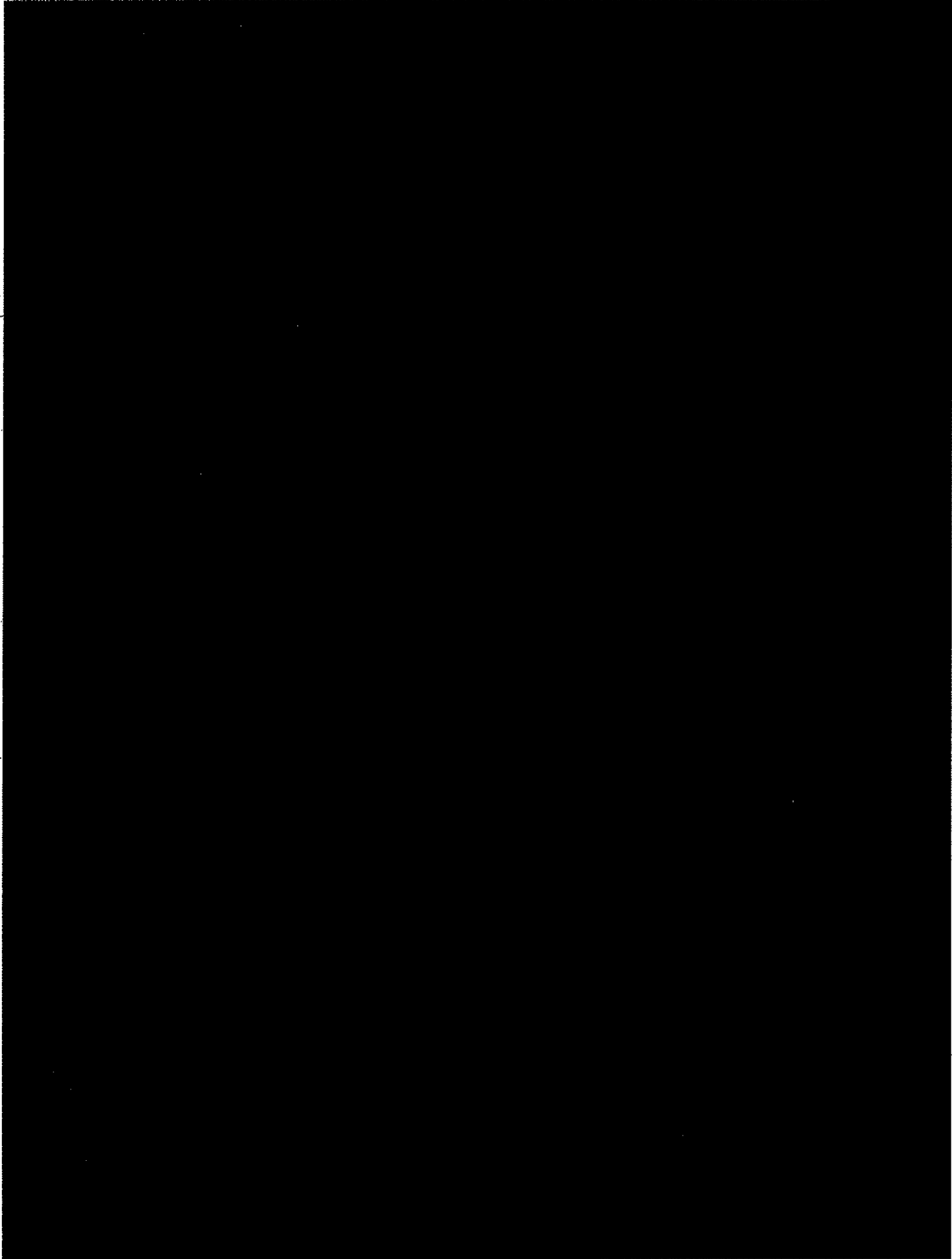
名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No.	資料ID	請求記号	巻号	及び別冊等
-----	------	------	----	-------

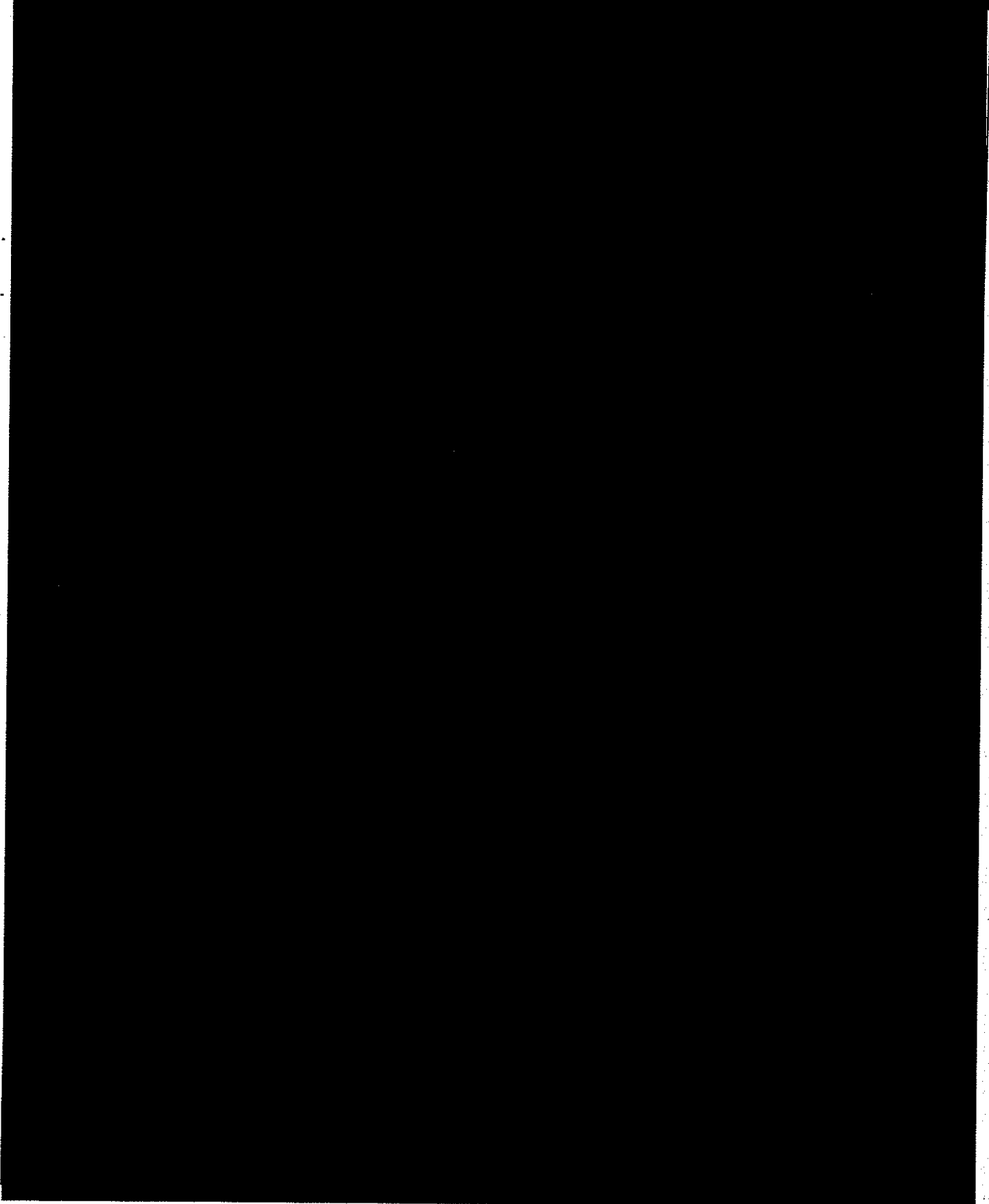
No.	省典ID	請求記号	巻号	頁行ル等
-----	------	------	----	------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

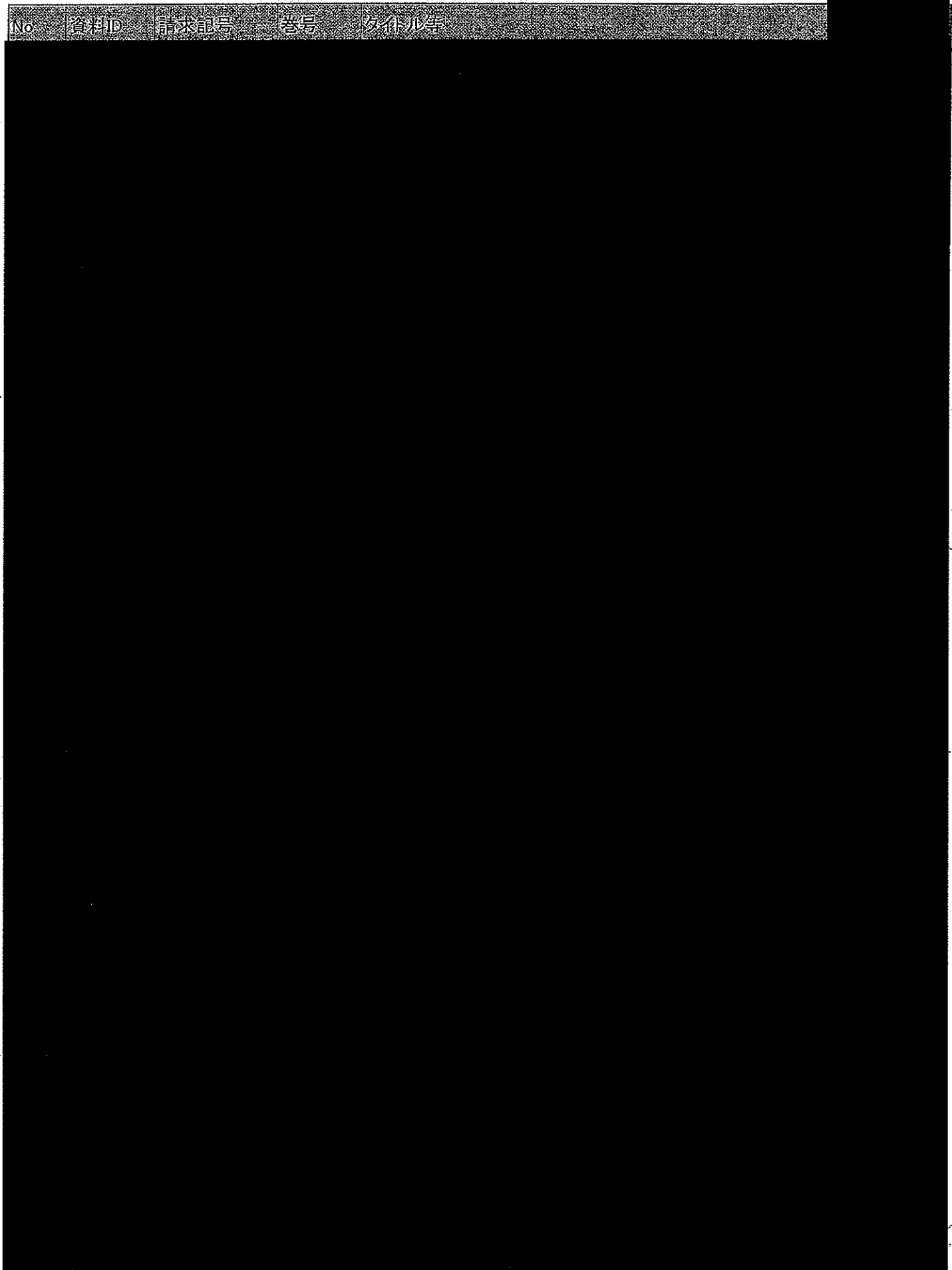
No.	資料ID	請求記号	巻号	外件番号
-----	------	------	----	------



No.	資料ID	請求記号	巻号	頁数
-----	------	------	----	----

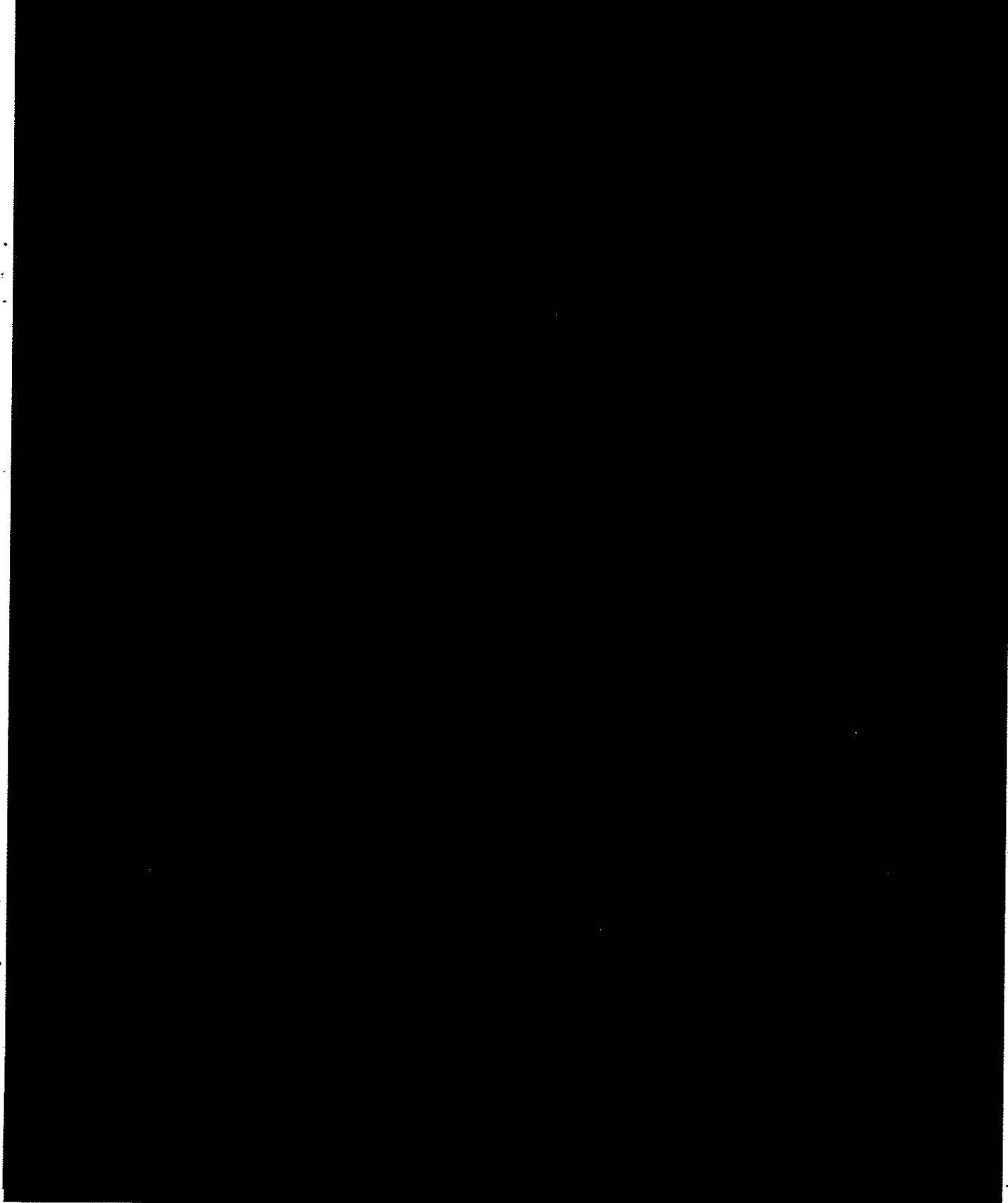


No.	資料ID	請求記号	巻号	及び冊号
-----	------	------	----	------

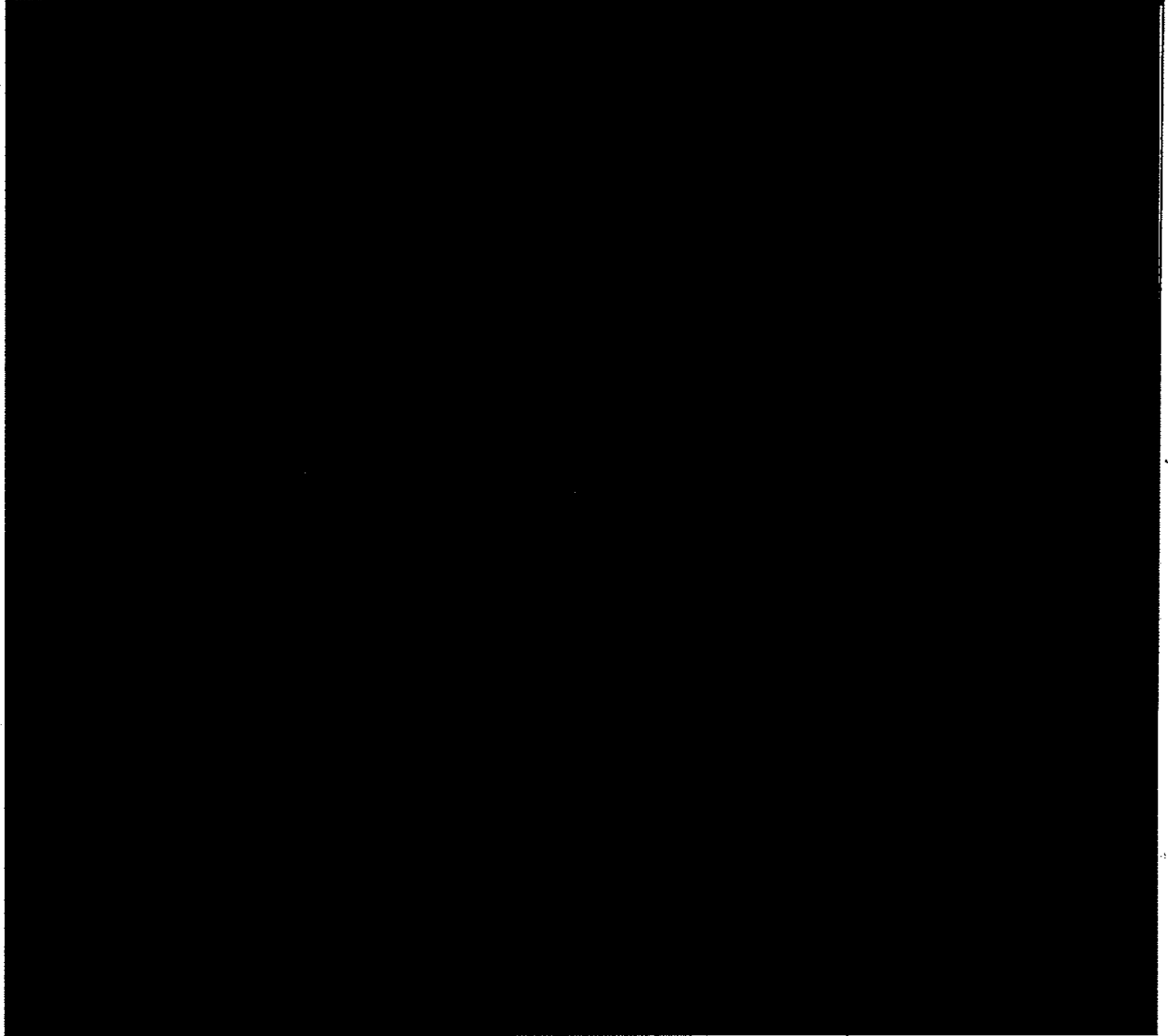


名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------



No.	資料ID	請求記号	巻号	発行元等
-----	------	------	----	------

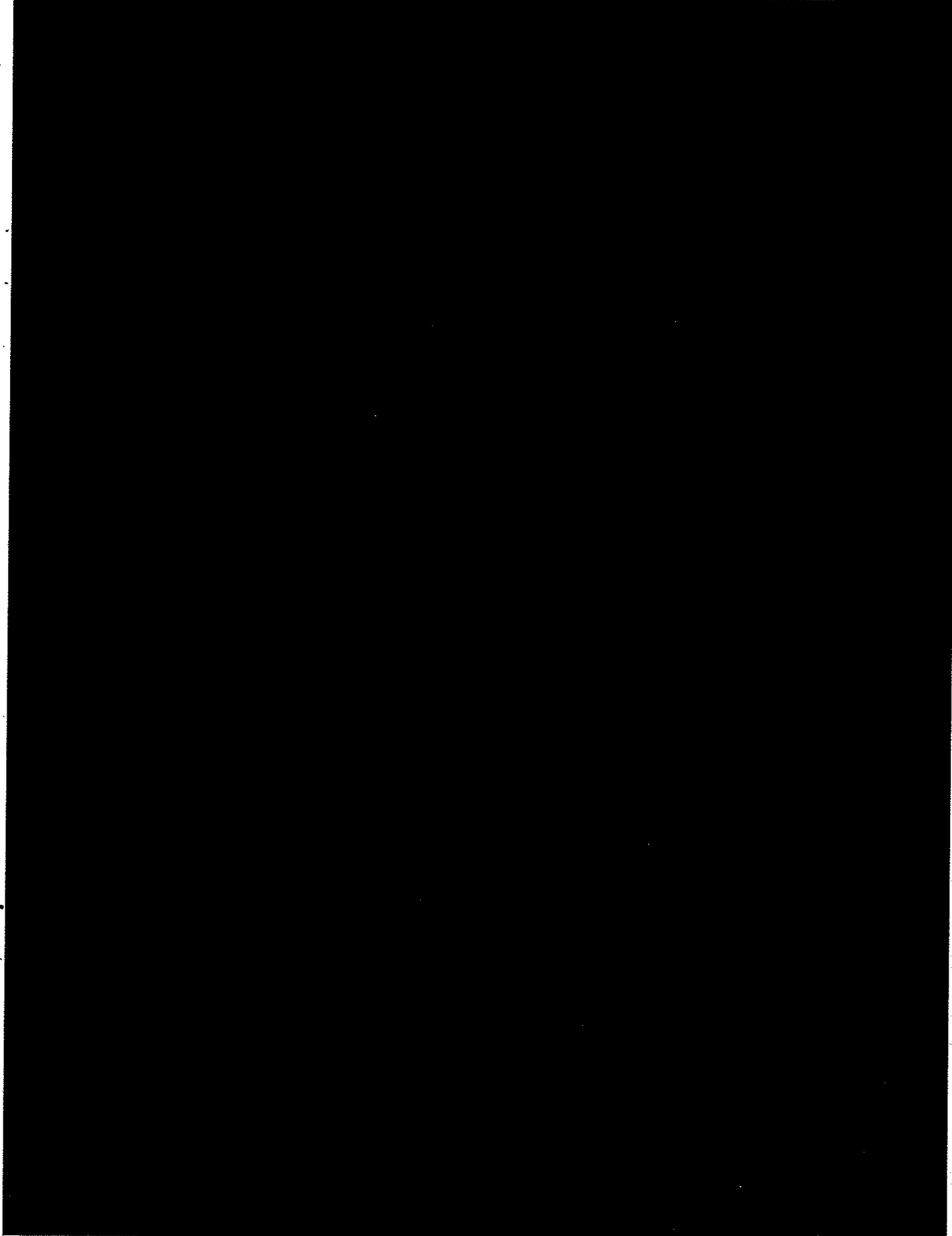


名古屋市文化財登録申請対象史料リスト2

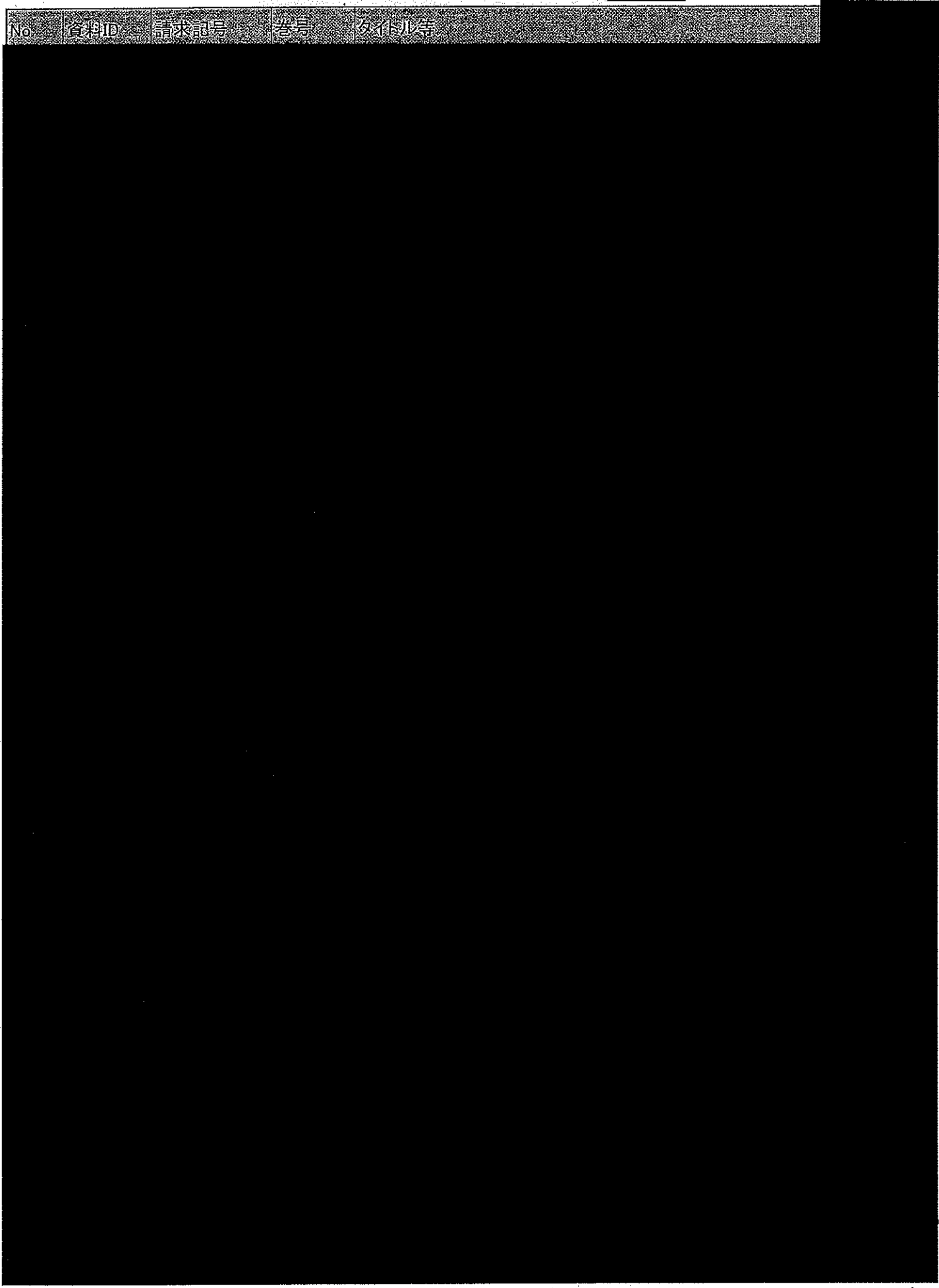
No.	資料ID	請求記号	巻号	及び別等
-----	------	------	----	------

No.	資料ID	請求記号	巻号	名称等
-----	------	------	----	-----

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

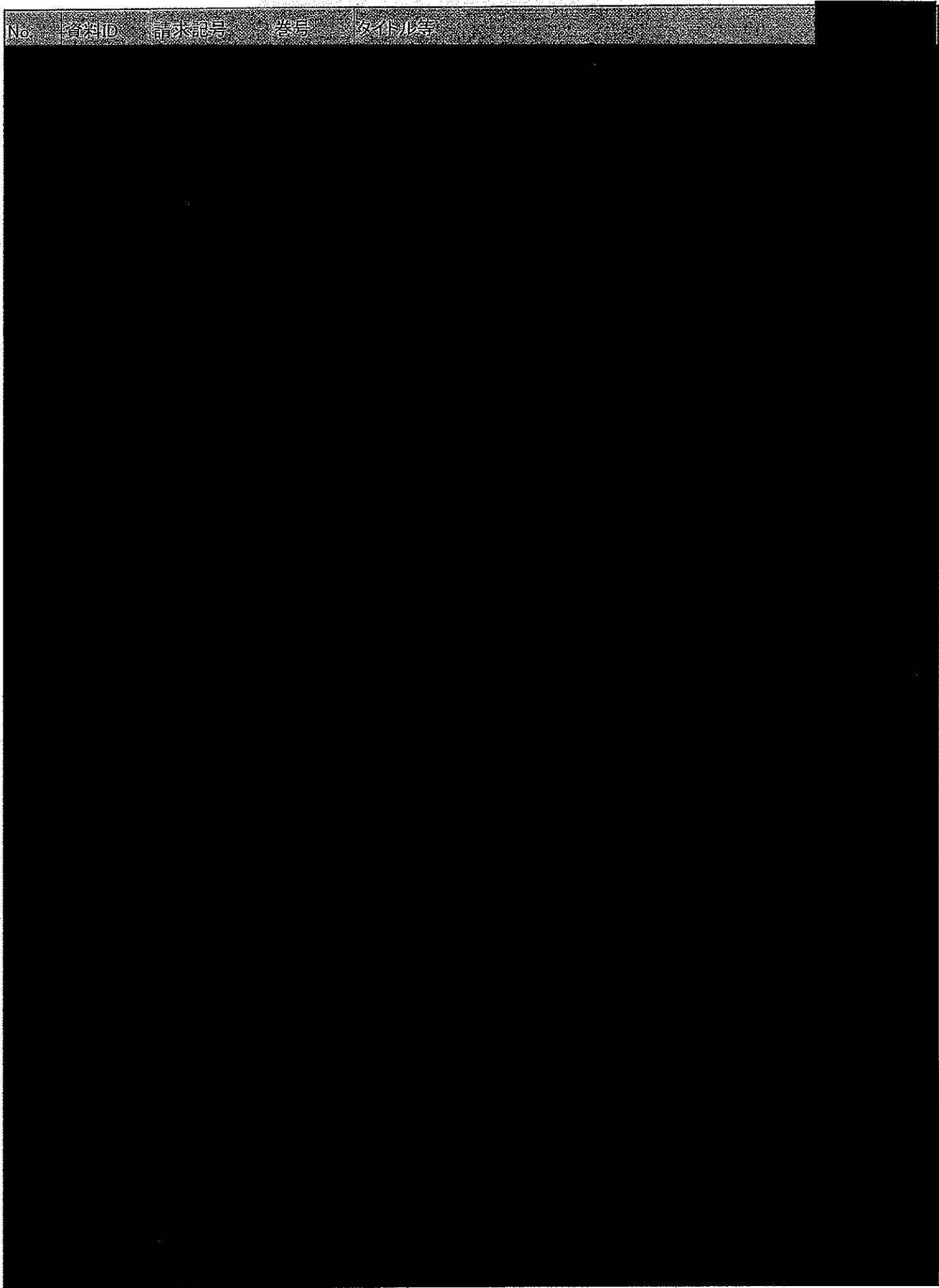


No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------



No	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

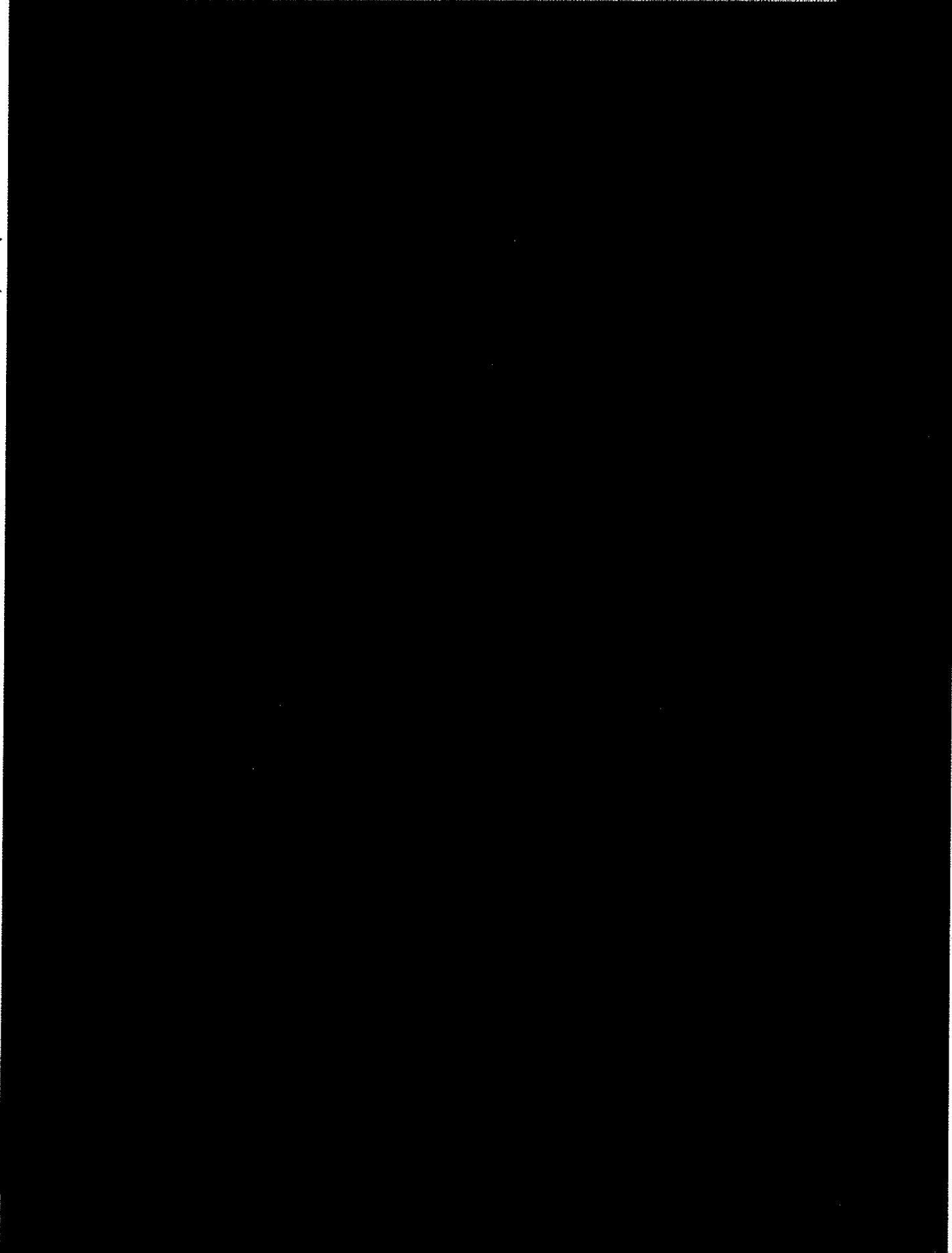


No	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
[Redacted Content]				

名古屋市文化財登録申請対象史料リスト4

No	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
----	------	------	----	-------



名古屋市文化財登録申請対象史料リスト4

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
[Redacted Content]				

名古屋市文化財登録申請対象史料リスト

No.	資料ID	請求記号	巻号	タイトル等
-----	------	------	----	-------

No.	資料ID	請求記号	巻号	発行年等
-----	------	------	----	------